

A hand is holding a tablet computer. The screen of the tablet shows a colorful map, possibly of Japan, with various regions highlighted in different colors like blue, green, and red. The background is dark and out of focus.

発達 + 学習 = 自立支援

放課後デイサービス「五つの輪」

アットスクール長岡京

NPO法人 支援機器普及促進協会

理事長 高松 崇

自己紹介

主な活動と経歴

●本年度

京都市教育委員会 総合育成支援課 ICT専門主事

京都府 特別支援教育京都府専門家チーム（宇治支援学校SSC）

NPO法人 支援機器普及促進協会 理事長

●昨年度以前

京都市 呉竹総合支援学校・東総合支援学校 特別非常勤講師

京都市 携帯電話市民インストラクター

京都市 ICT活用支援員（総合支援学校ICTコーディネーター）

京都市 総合育成支援員（発達障害児支援）

京都市 精神障害者授産施設 京都市朱雀工房 統括職業生活支援員

京都市 地域若者サポーター（引きこもり支援）

京都府教育委員会 社会教育委員

京都府高等技術専門校 在職者訓練インストラクター

中小企業基盤整備機構 経営改善アドバイザー

私も、通所生活介護施設に通う三男がおります

18番テトラソミー

140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常（18番染色体が4本ある病気です）の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりしました

18テトラソミーの子の成長

140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常（18番染色体が4本ある病気です）の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりしました

2014-12-27 13:54:33

テーマ：成長記録

12月7日にはお母さんと一緒に
SL北びわこ号（米原から木ノ本）にも乗ってきました
梅小路機関車館のSLとは違い、40分の自然の中を走ったそうです

プロフィール



プロフィール | なう | ピダの部屋

ニックネーム：menis18

性別：たかちゃん

自己紹介：

18番テトラソミーという遺伝子障害は非常に





夏休みの宿題

8月15日(土)

しゅくはくがくしゅう



ドリトルでおとまりしたよ
プールとボウリングがた
のしかったよ

7月17日(金)

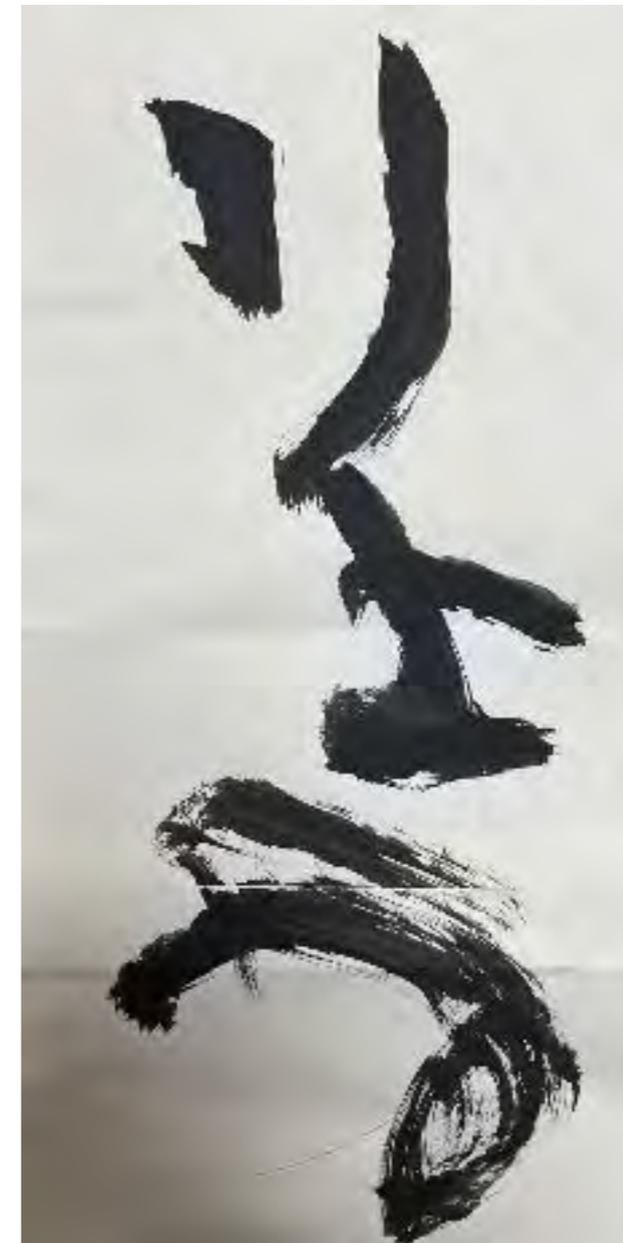
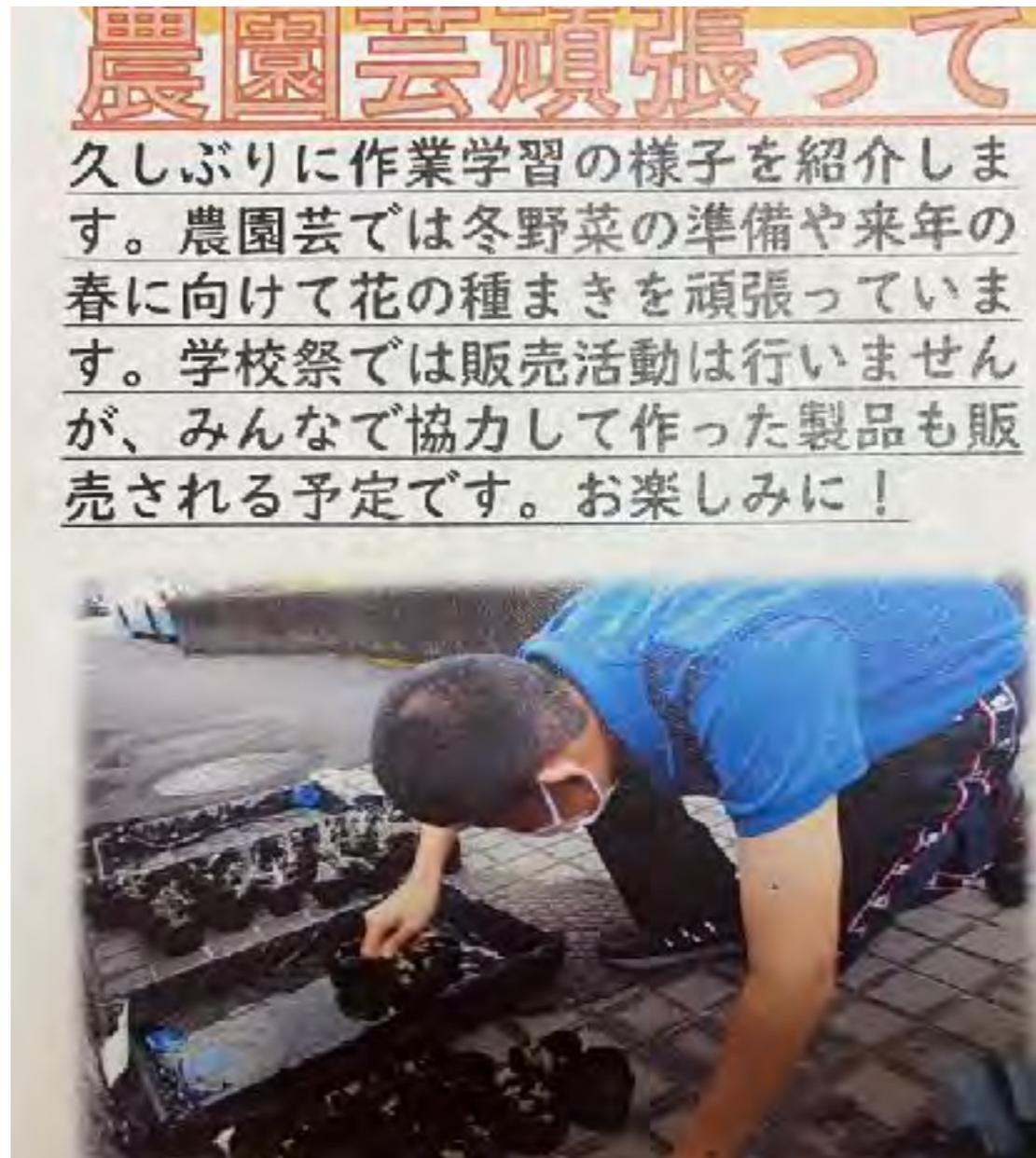
なつやすみじゃないけど



おとうさんと、おかあさん
と、3にんで きんてつとつ
きゅう ひのとりとしまか
ぜにのったよ

出来る状況作り

指導ではなく、ファシリテーター（調整）



Society5.0を生きる

子供たちに出来る！ やりたい！

を支援するための選択肢を

提示できる引き出しの数

(視線入力・iPad・スイッチ・姿勢…)

国連が日本政府に勧告

「障害のある子どもにインクルーシブ教育の権利を」

「分ける教育」の先にはなにがあるか

「主流」の子どもを中心に学校がつくられる中で、日本は歴史的に障害のある子どもは別の場で別の教育を受けることを前提とした教育システムを構築してきた。障害があると分かった時点で別の学校、別の教室で教育を受けるということである。そのような教育システムの中で、子どもたち（筆者も含め、今の大人たち）は「障害があったら別の場に行くことが良い」と学んできた。

分ける教育の中で、障害種ごとの指導方法は発展してきたであろう。一方で、分ける教育は、共生社会につながるのだろうか。昨年の筆者の記事において、自宅の隣に障害者施設が建設されることに賛成する日本人が2割しかいないという研究結果を紹介した。「差別はダメ」という教育をしながら、一方で、障害を理由とし、別々の場で教育を受けることを当たり前とする教育や、障害のある子どもがいることが前提となっていない学校の在りようは、「障害のある人は障害を理由に排除されても仕方ない」という無意識のメッセージを障害のある子どもにも、障害のない子どもにも植え付けてしまうのではないだろうか。これを読んでいる人の中にも「障害のある子どもは別の場で教育を受けた方が良い」と思っている人がいるであろう。

Society5.0（ソサエティ5.0）未来の日本の姿

Society5.0。

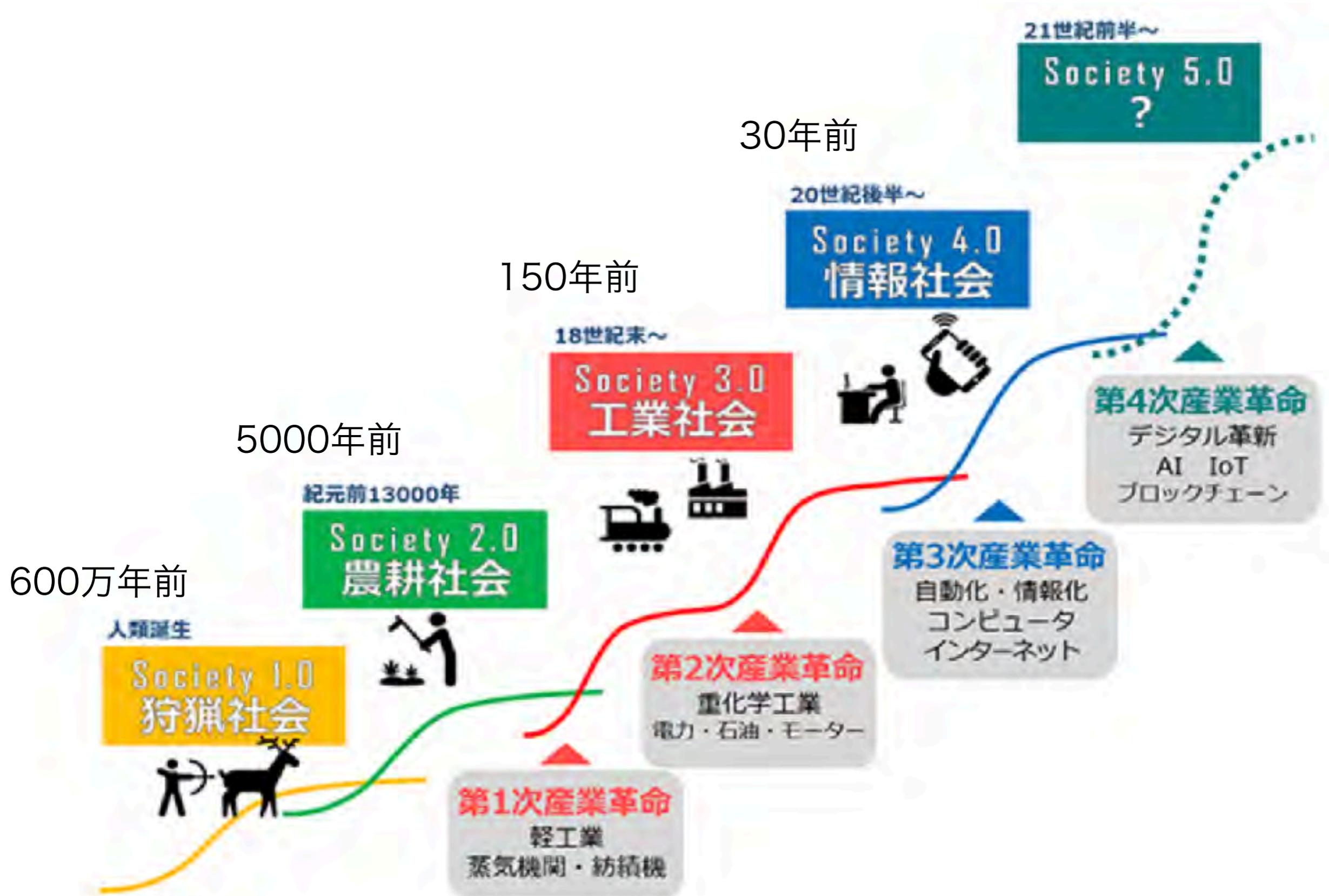
それは、IoTやAIといった先端技術によって、
社会課題を解決していくスマート社会のこと。

私たちの暮らしは、

Society5.0 でどんなふうに変わっていくのでしょうか？

ちょっと先の日常を覗いてみましょう。

Society5.0とは



個別の支援計画

出来ないところ（劣位性）を改善する

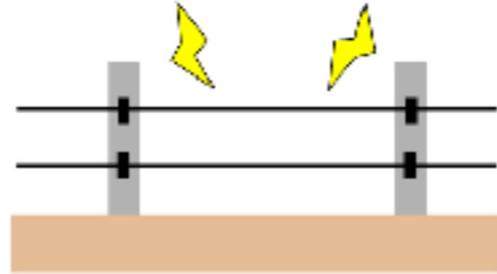


得意なところ（優位性）を伸ばす

子どもたちをTaxPayer（金銭的自立 納税者）

にしたければ・・・

前後に調整する工夫



食べごろ

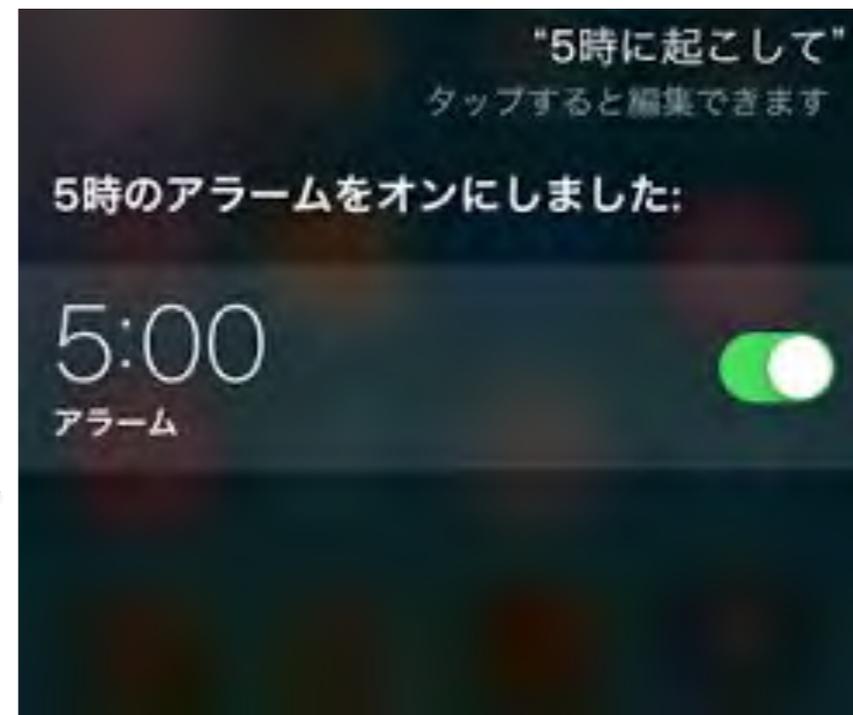


学びごろ

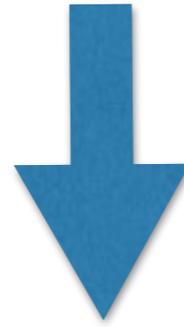
起きる



音声アシスタント



買い物



ネットショッピング



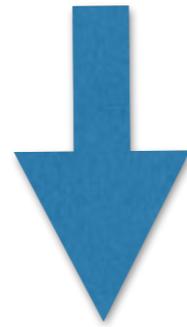
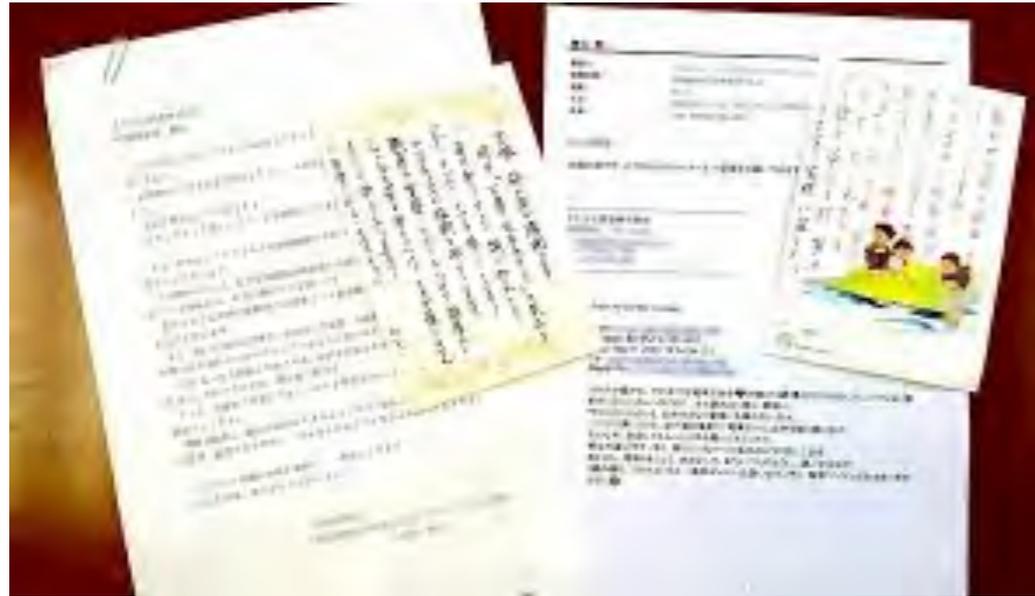
電子決済



仮想通貨



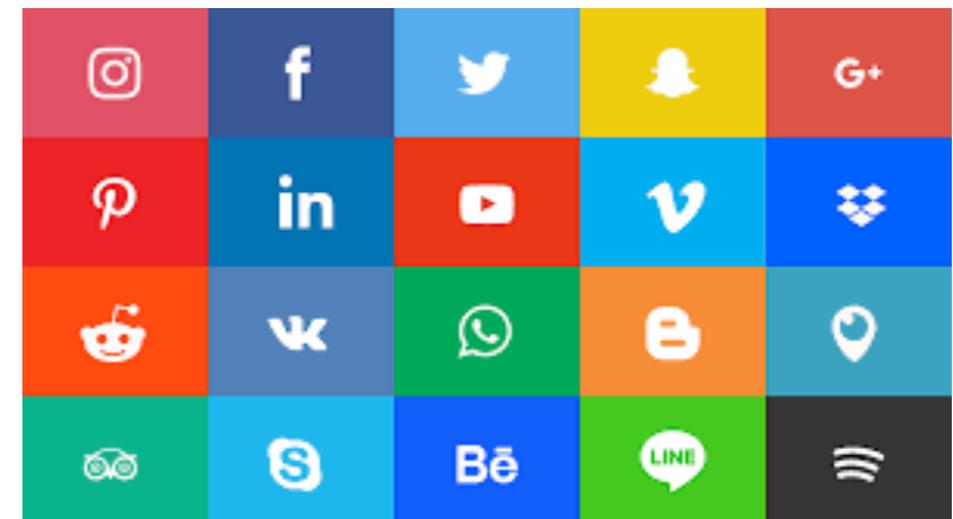
伝える



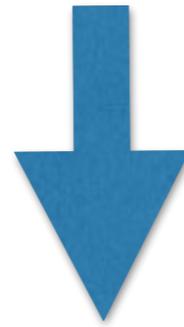
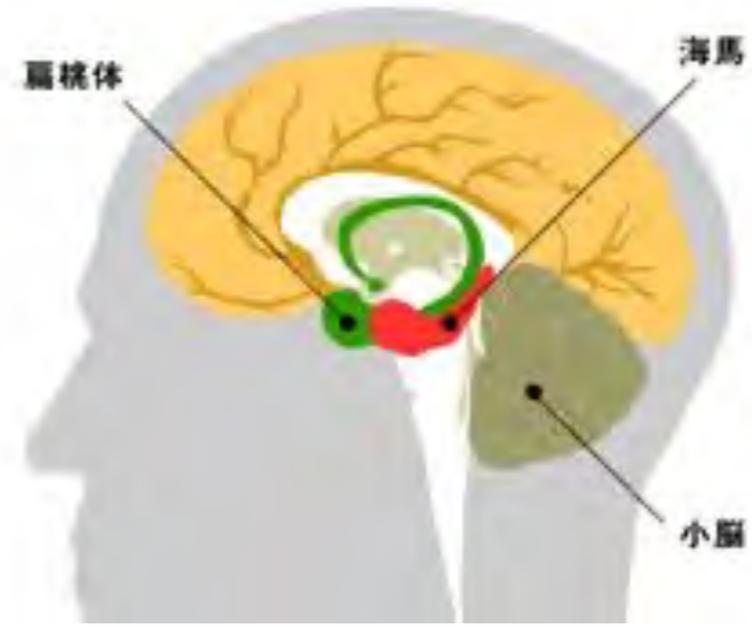
ガラケー

スマホ

SNS



記憶する



ボイスメモ



カメラ



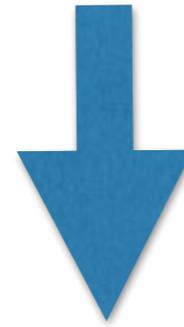
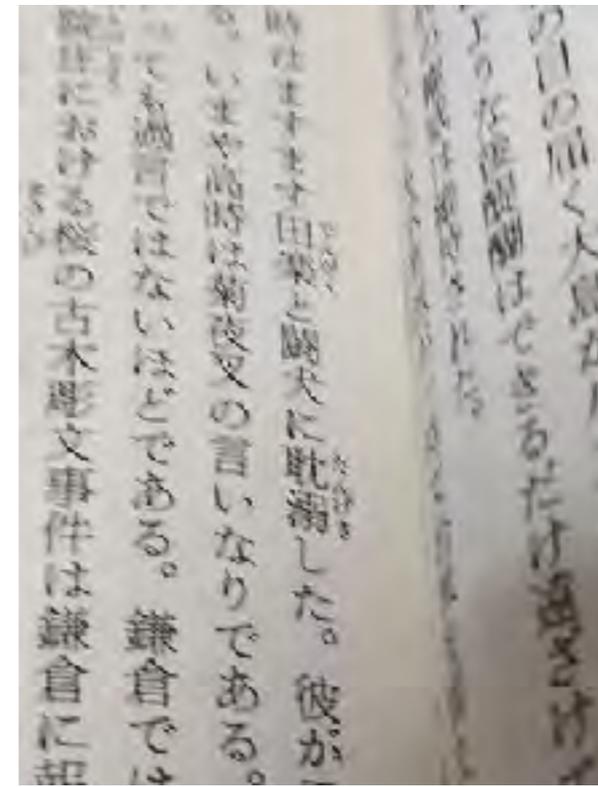
メモ



リマインダー



読む



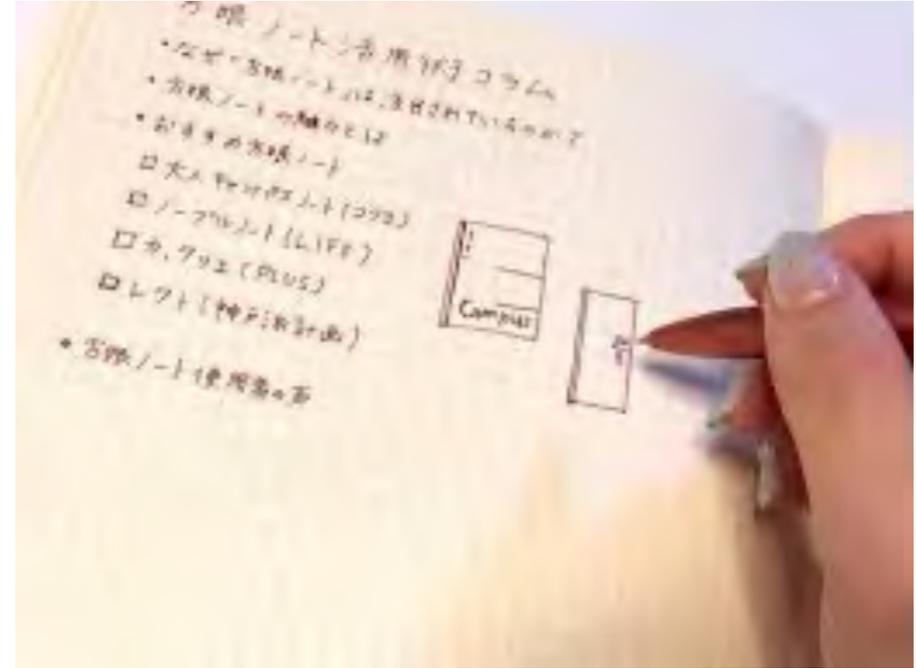
電子書籍



オーディオブック



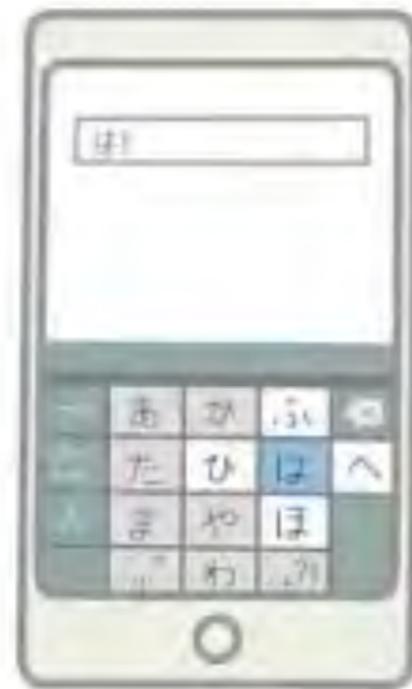
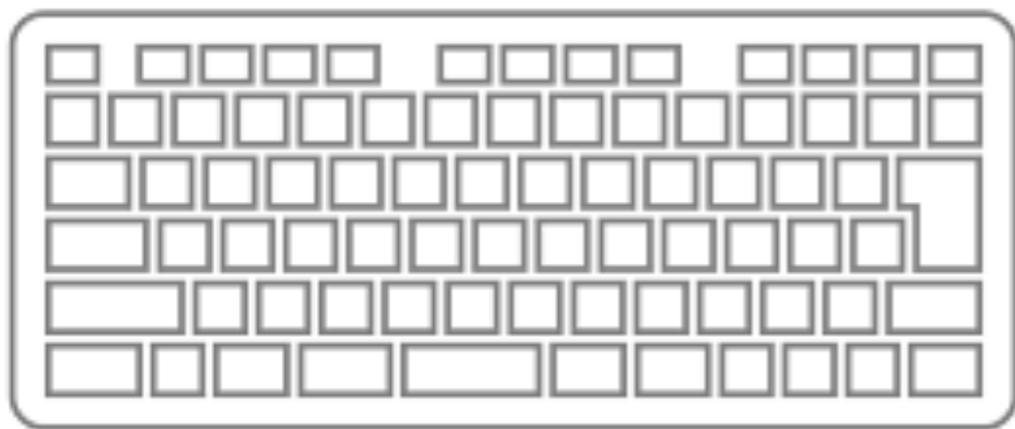
書く



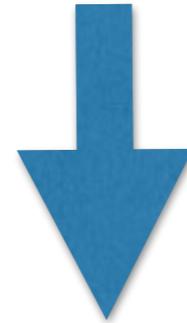
フリック

手書き変換

音声入力



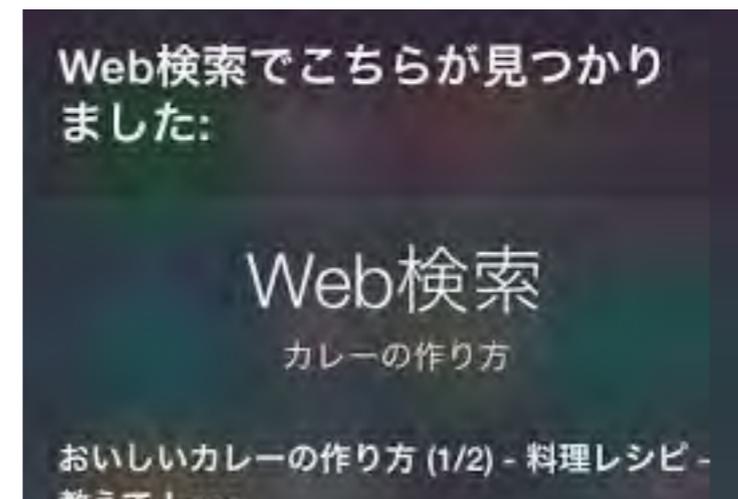
調べる



インターネット

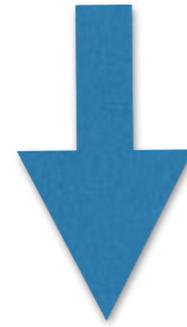
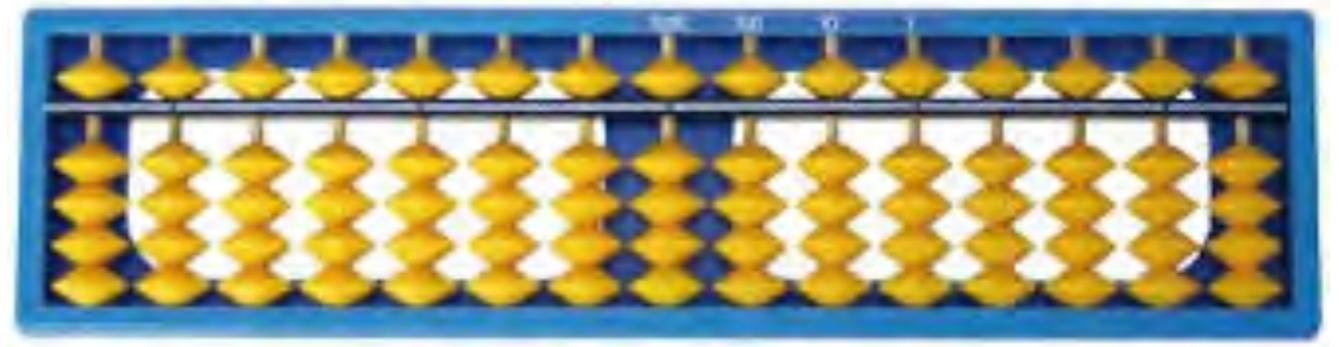


音声アシスタント

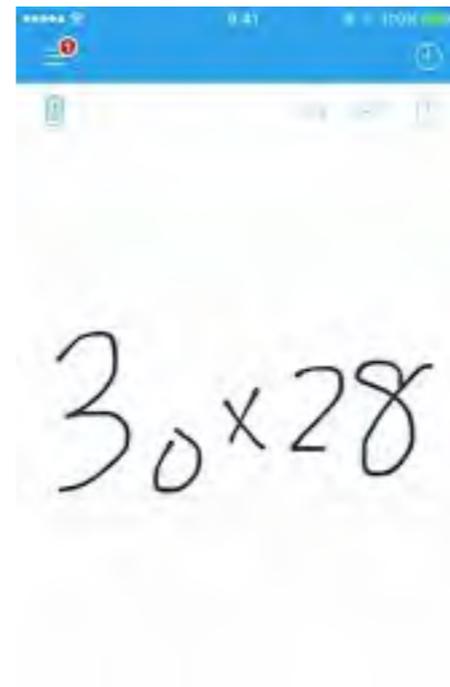


計算する

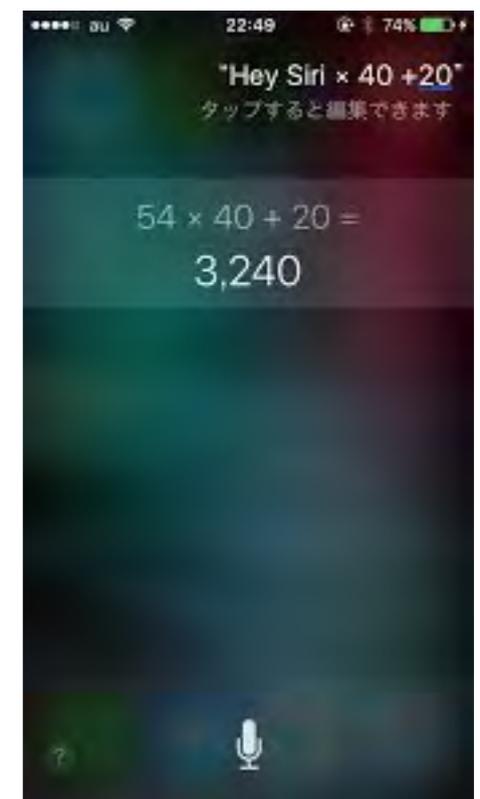
$$\begin{array}{r} 567 \\ \times 78 \\ \hline 4536 \\ 3969 \\ \hline 44226 \end{array}$$



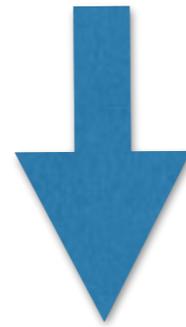
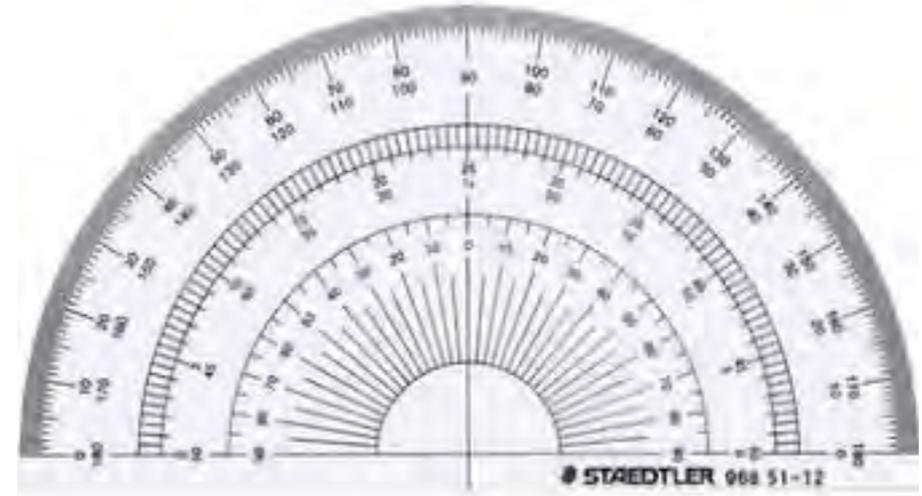
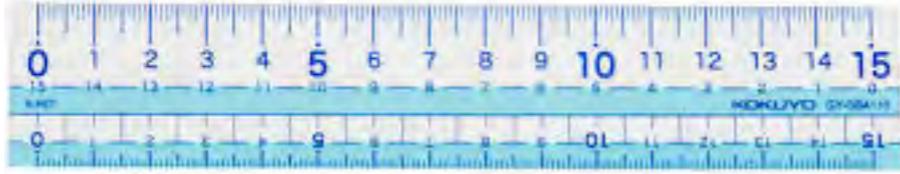
手書き電卓



音声アシスタント



はかる

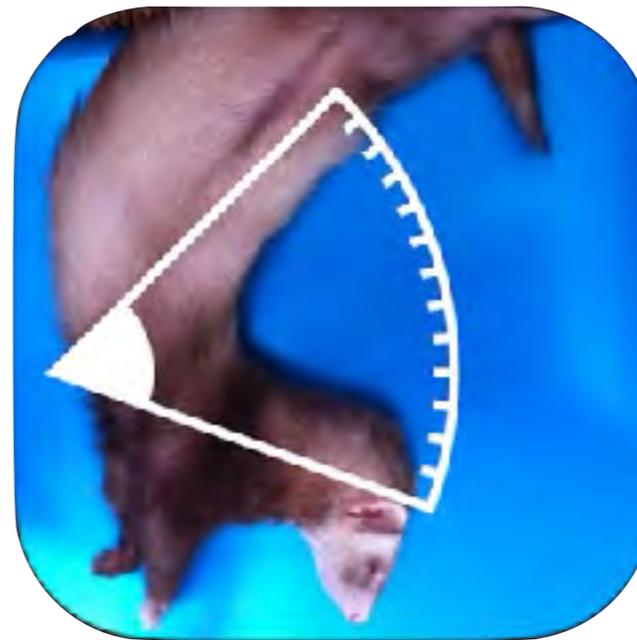


AR (拡張現実)

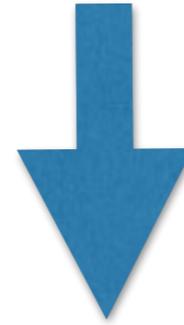
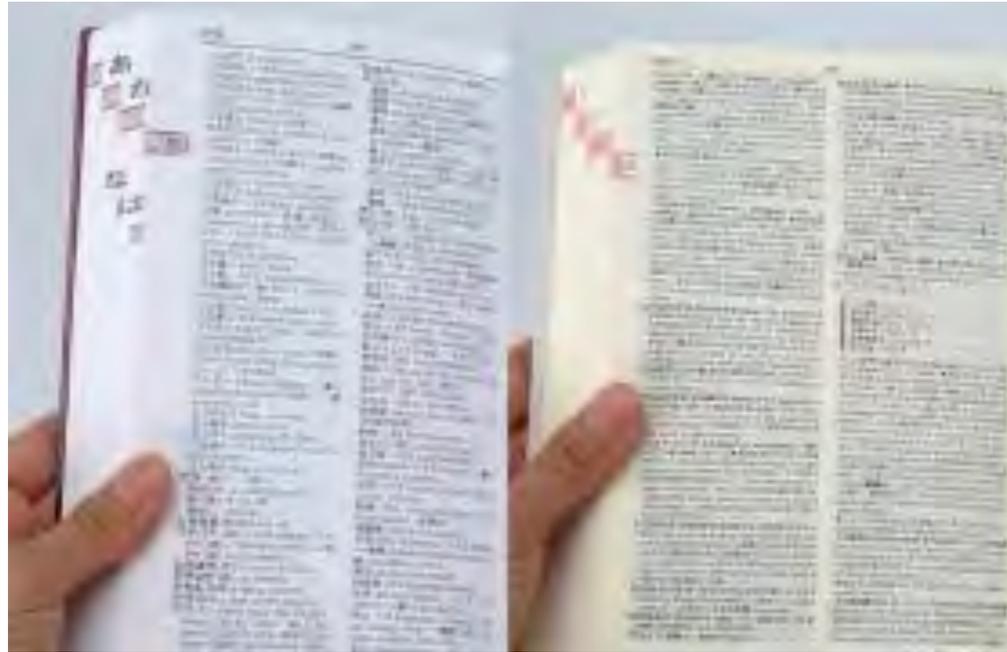
計測



カメラ分度器

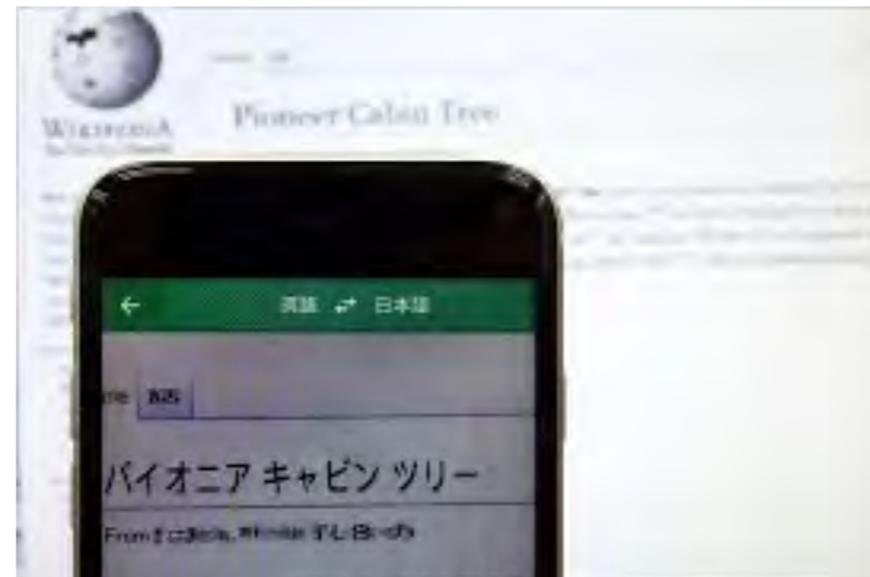


外国語

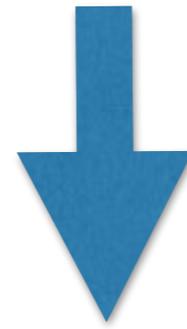


Google翻訳

UDトーク



Creative



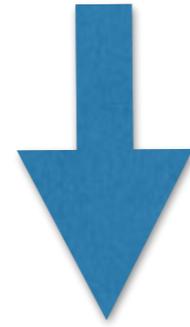
AR (拡張現実)

ActionMovie

3Dプリンタ



働く



自宅で

スマート農業

メタバース

分身ロボット



Society 5.0で共通して求められる力

まず共通して求められる力として、

- ・ 文章や情報を正確に読み解き対話する力
- ・ 科学的に思考・吟味し活用する力
- ・ 価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力

の3つがあげられています。

特に3点目について、技術が高度化していく時代だからこそ、人間にしかできないような、溢れる情報の中に「価値を見出す」ことの重要性が増していきます。

そして、その上で重要なのが、やはり感性や好奇心といった、創造的な部分の力でしょう。

Society 5.0で新たな社会を牽引する人材

次に、新たな社会を牽引する人材として、

- ・ 技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材
- ・ 技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材
- ・ 様々な分野においてAIやデータのパ力を最大限活用し展開できる人材

の3点があげられています。

AIやデータ、技術革新に感度高く反応し、それを実社会に転用していく力が全体的に求められていることがわかります。

1点目の、飛躍知を発見・創造する人材に関しては、もちろん土台となる知識を獲得するのは前提ですが、創造的なアイデアを生み出す力も大事になってくるでしょう。

単にICT機器が
使えるという操作スキル
の問題ではありません

Topics

常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）

平成28年2月29日

文化審議会国語分科会

Q37 一定の字形を標準とする場合の正誤の判断

ある字形を推奨し、それを正誤の判断基準にすることは、テストの採点などをはじめ、一般的に行われていることと思います。正誤を判断する場合に、一定の字形を標準にすることも避けるべきでしょうか。

A 漢字の正誤の判断においては、推奨される一定の字形だけを正しいものとするのではなく、その漢字の骨組みがあるかないかに着目した柔軟な評価が望まれます。

漢字については、一定の字形が標準として推奨される場合があります。その理由としては、発達段階に応じた教育的効果や情報交換の効率化が期待される点、倣って書くことで整った読みやすい字を表しやすいためなどが挙げられるでしょう。(→Q24)

しかし、評価対象の字形が推奨される字形と違っているだけで、誤った文字であるとは判断できません。例えば、以下に挙げるものは、常用漢字表の考え方において、いずれも誤りであるとは言い難い手書き文字の字形の例です。

常用漢字表の 掲出字形	骨組みに過不足がなく、誤りとは言えない手書きの字形の例
木	木 木 木 木 木
女	女 女 女 女 女
言	言 言 言 言 言
改	改 改 改 改 改

一定の字形が推奨される場合であっても、それに倣うことを重視する余りに、本来は直接関係のない正誤の判断にまで影響することがないように注意しましょう。

⇒参照 第1章2[P.7]

かん字

1年 光 めあて

一年で習った漢字の事を知る。

一年でならったかん字

言語漢字

上1~下10
なまえ

くみ ぼん

各4点(10)

光文書院

● かん字を かきましよう。

—の ことはは、かん字と ひらがなで かきましよう。

各1点(7)

① 木 あそび

② 名 まえ

③ 手 ともたち

④ 口 をあける。

⑤ 夕 がた

⑥ 力 もち



⑦ 山の中

⑧ 木 よう日

⑨ 金 もち

⑩ 十円玉

⑪ 文 ぶん

⑫ 五 百円

⑬ 目 をよめます。

⑭ 竹 やぶ

⑮ 学校

⑯ 火 び

⑰ 気 をつける。

⑱ くるま

⑲ くるい



⑳ 村へおるる。

㉑ しろい糸。

㉒ 正しいこと。

㉓ あかいいりんご。

㉔ むつつのたまご。

㉕ 早いじかん。

㉖ ものをとりあげる。

㉗ 上げる

うたがう かんじ



かんじはれ!



おむしたん ことえを だしめたい



メモを取っても記憶は定着しない: 研究結果

何かを覚えておきたいとき、メモを取る人は多い。でもそれではかえって逆効果になる、という研究結果が発表された。

メモをとった学生たちは、記憶の貯蔵に外部形式の技術を頼るあまり、彼ら自身の神経シナプスは、何もせずにいたのだ。

読者諸兄には、ぜひこのことをメモして欲しい（いや、実際にはメモにとらずに、単に覚えていて欲しい）。メモを取れば、あなたの記憶をむしばむ。あなたの脳を救うには、鉛筆を置き、メモ帳から離れよう。

スクリーン
タイム

急性内斜視

スマホ

使いすぎで
若者が“斜視”に?!

©斜視治療のストラテジー
佐藤美保 三輪書店



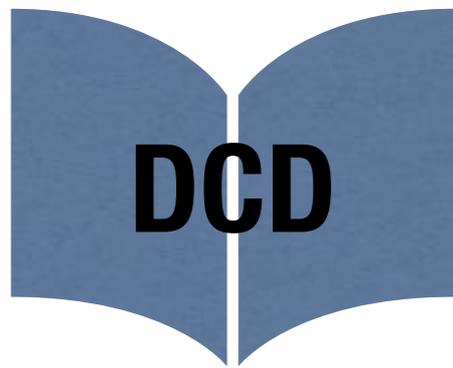
おはよう
日本

“斜視”

NHK

【現場から、】 発達障害児に “集中しやすい環境”を「ふみおくん」



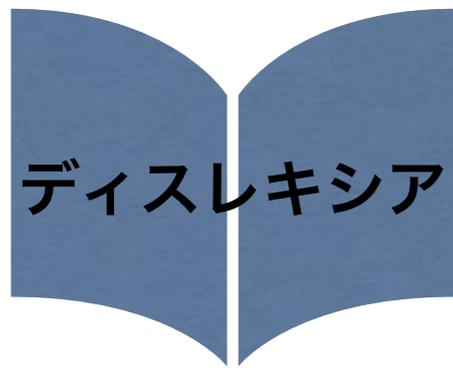


発達性協調運動障害(DCD) の理解と支援

DVDサンプル映像

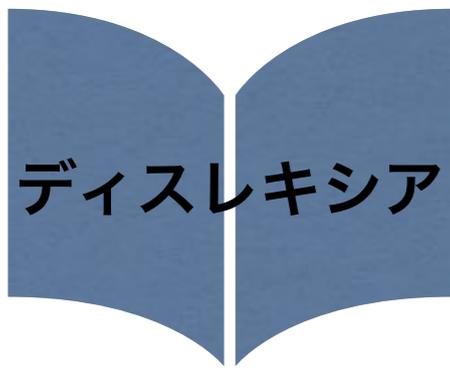
「発達性協調運動障害(DCD)の理解と支援 全2巻」SAMPLE





“多様な学び”で力を発揮！ 学習障害の子ども達





【竹田契一】読み書きが苦手な子どもの 基礎理解と具体的対応(一部抜粋)

漢字習得につながらない指導



合理的配慮
個別最適化

ICTセキュリティ

ICTリテラシー

小学校



中学校



高等学校

大学・専門学校

学校を守る



自己責任で使う

手法は教師が提示する

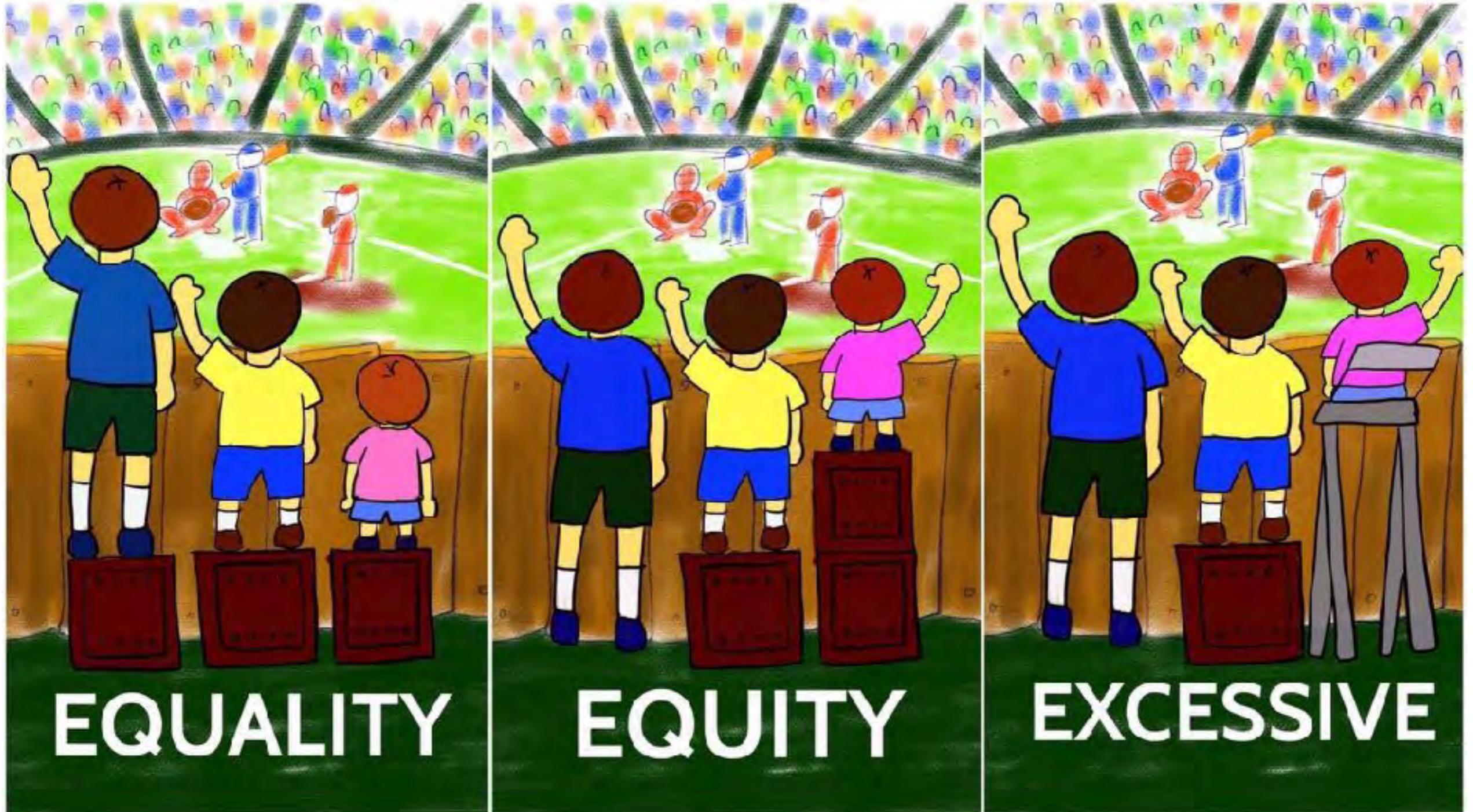


手法は生徒が考える



手法は生徒に任せる

合理的配慮



平等

公平

やりすぎ

基礎的環境整備(授業のUD化)



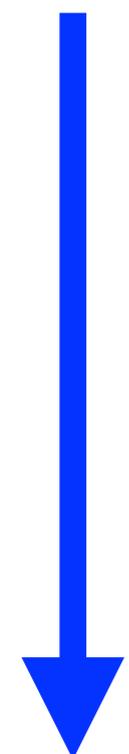
学習の壁（困り）の超え方

子どもの負担

周囲の負担

高い

低い



低い

高い

本人の努力

よじ登る（訓練する）

合理的配慮

持ち上げてもらおう（力を借りる）

回避する（代替手段）

基礎的環境整備

壊す（ルールを変える）

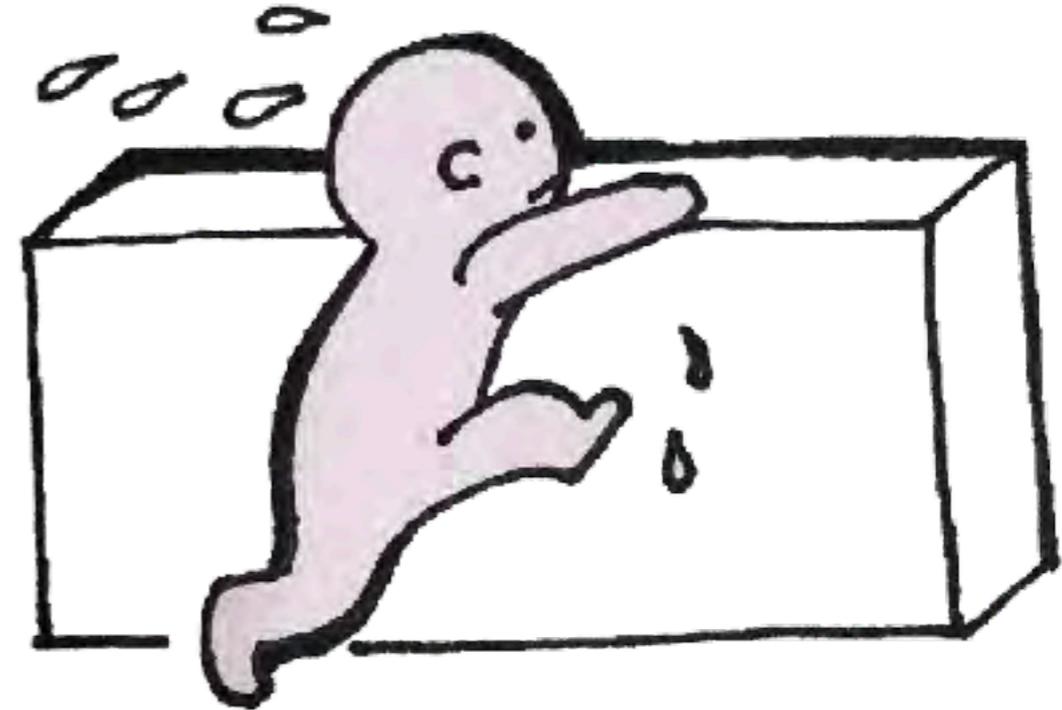
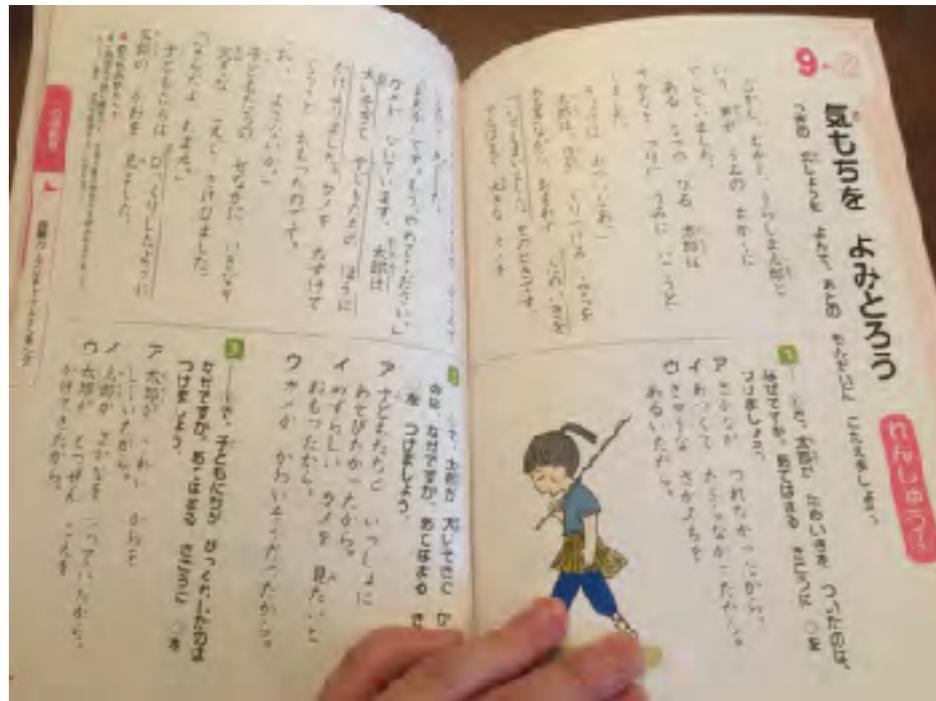
社会変革・支援者の意識改革

超えずに済みます（価値観を変える）

Trade-off ⇒ Win-Winへのパラダイムシフト

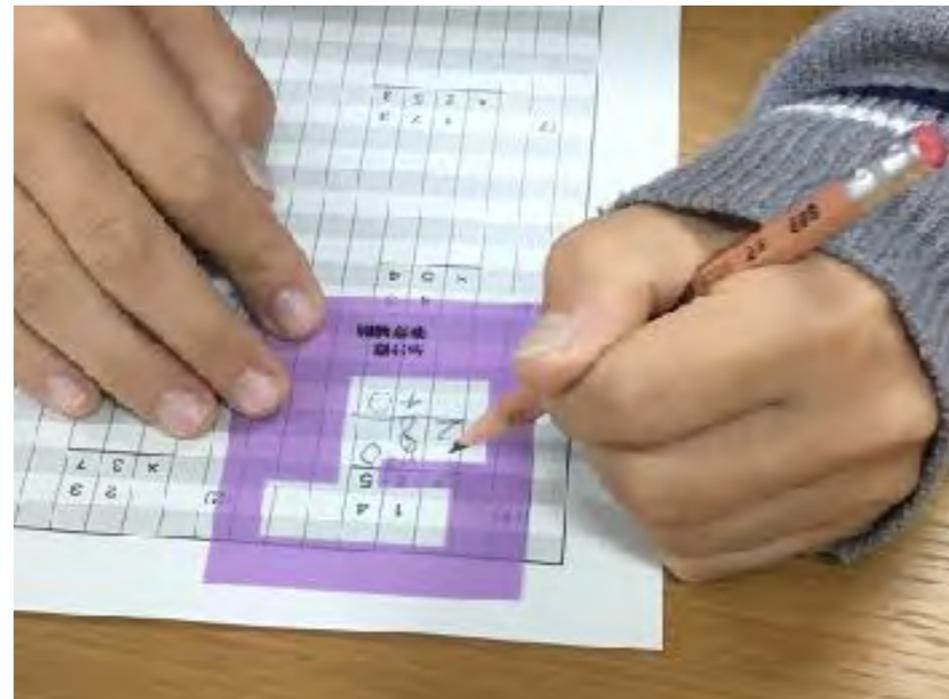
よじ登る (訓練する)

とにかく自力で目の前の壁を超える (普通級)



持ち上げてもらおう（力を借りる）

壁を低くして自力で超えやすくする（個別支援・通級）



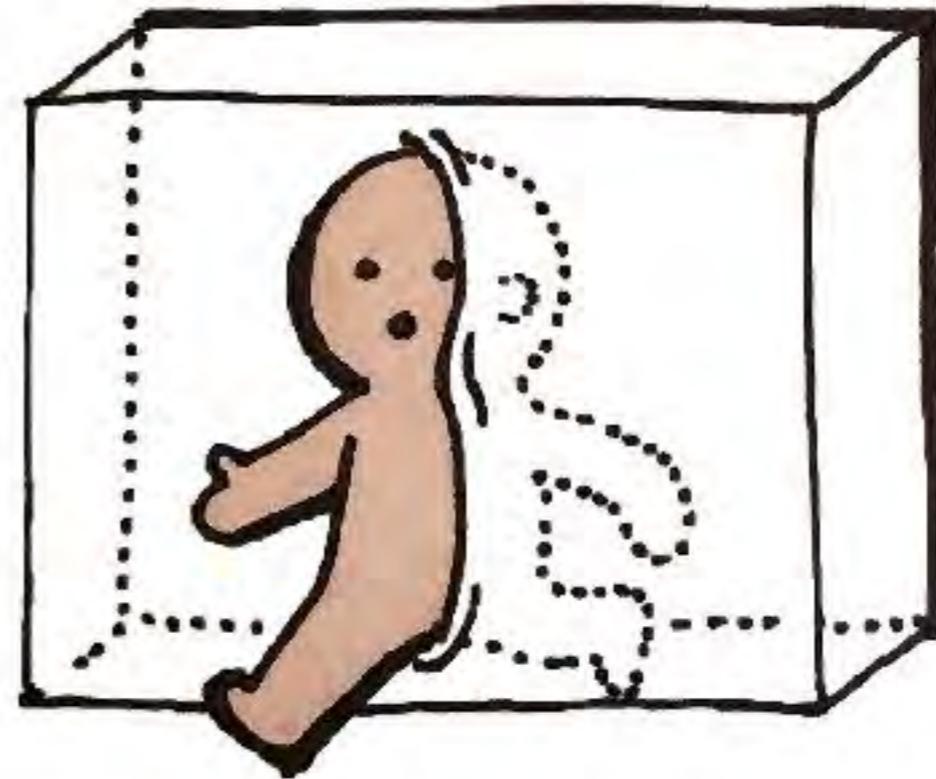
回避する（代替手段）

壁を迂回して自力で壁の向こうへ（ICTの活用）

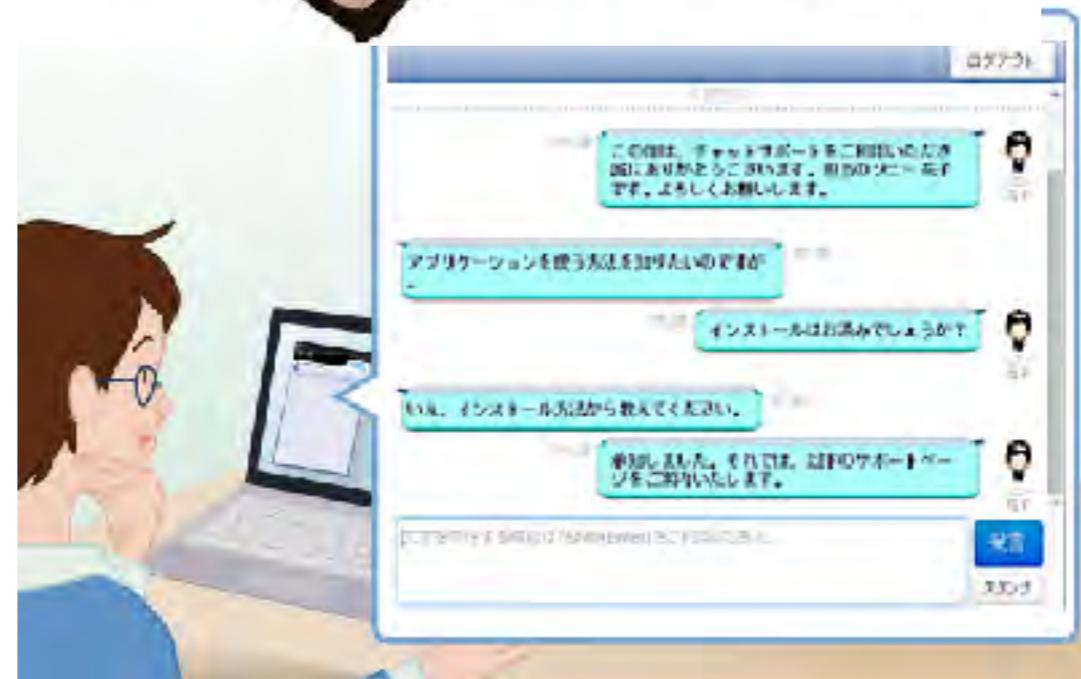


壊す (ルールを変える)

壁じゃなかったんだ！ (授業のUD化)



座ってられなくても・・・



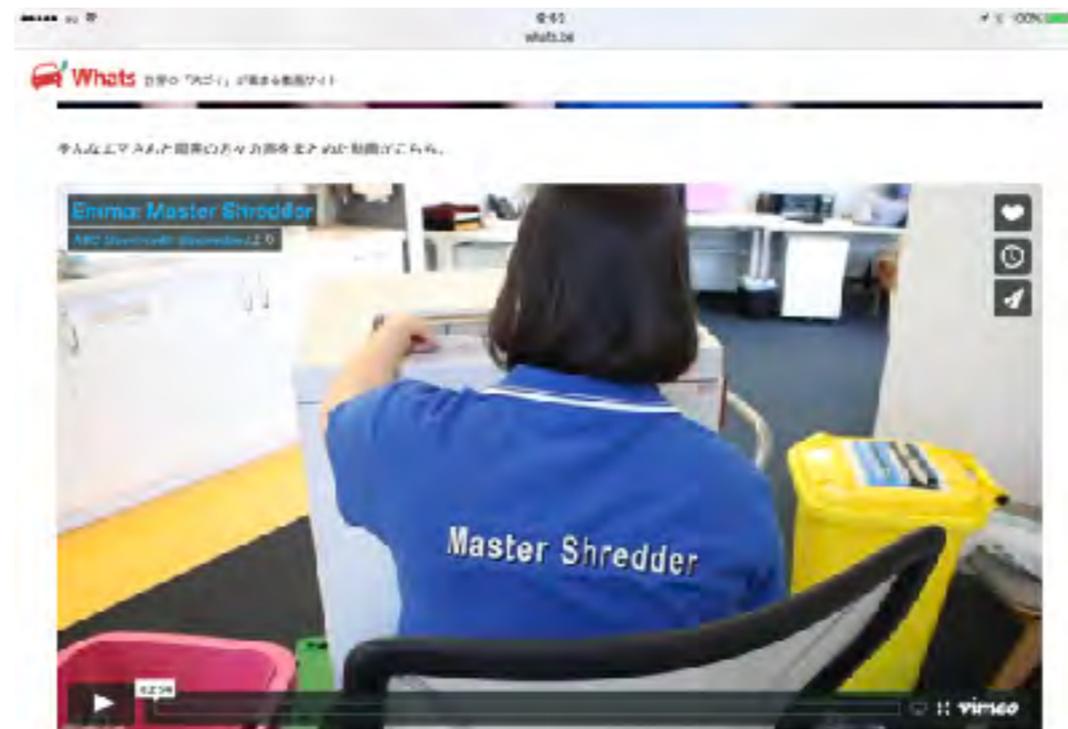
顔を見て話せなくても・・・

超えずに済みます（価値観を変える）

そもそも壁（困り）だったの?!（医療モデルから社会モデルへ）



文字の読み書きが出来ない



ビデオキャプションを有効にして視聴することができます。彼女の話は多くの人の勇気と感動を与えますね。

経済的自立を目指して

重度障害者がロボットで接客する実験カフェ分身
「ロボットカフェ DAWN ver.β」 11月にOPEN!



2027年65%は新たな職業に就職する

- 「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」
- 米デューク大学の研究者であるキャシー・デビッドソン氏
2011年8月、ニューヨークタイムズ紙のインタビューで語った
予測が波紋を呼んだ



★思春期に口答えする子は、大人になってより成功する

親に口答えする子どもは自信をもって嫌なことは嫌と言うことができるが、他者と意見をぶつけ合うことを覚えなかった子は、強いことを言われると引き下がってしまう。

★よくしゃべる子どもは成績が良い

口を動かしながら、コミュニケーション・スキルを発達させ、自分の問いに対する答えを求め、得ることを習得していると考えられています。

★ルールを守れない子は、人並み以上の成績を収め、 高収入の大人になる

一説としては、そうした気質は、より強い競争心や自己主張を伴い、転じて、より高い給与を求めたり交渉したりすることが得意になるのではないかと考えられています。

ASD

ADHD

LD

DCD

知的障害

肢体不自由

視覚障害

聴覚障害

引きこもり

この子でも出来る！

適切な支援があれば・・・

～日本理化学のもう一つの使命～



日本理化学工業は全従業員81人中60人が知的障がい者(内27人が重度の障がい者)が働いている、学校で使うチョーク製造を主とした会社です。(平成28年6月現在)

会社創立は昭和12年ですが、知的障がい者の雇用は昭和35年2人を雇ったのがスタートでした。このような障がい者多数雇用を目指したのは、禅寺のお坊さんから「人間の究極の幸せは、1つは愛されること、2つ目はほめられること、3つ目は人の役に立つこと、4つ目は人に必要とされることの4つです。福祉施設で大事に面倒をみてもらうことが幸せではなく、働いて役に立つ会社こそが人間を幸せにするのです」と教わったからでした。

そして障がい者雇用の助成金制度の出来る4年前、重度障害者多数雇用モデル工場設立についての融資制度が出来、労働省からの是非の声もあって制度を活用して川崎工場を作ったのです。条件は従業員の50%が障がい者で内その半分以上が重度の障がい者を雇用し、金利4.6%、20年で返済することでした。

ここからのスタートであったので、今日の雇用割合になっているのです。

ジョブコーチ制度もなかった中、地域の最低賃金を払いつつ20年返済もすでに果たし、障がい者達の頑張りのお陰で国内チョーク業界にあってシェア30%を超えるトップメーカーになって居り、重度の障がい者達でも企業の貴重な労働力となることを実証できたと思っています。

この間会社は、知的障がい者から一般社会では得られない多くの気づき、それも人間としての生き方、社会・国のあり方まで多くの示唆をもらいました。この気づきは多くの方に伝えることが日本理化学のもう一つの使命と考え以下ここにお伝えする次第であります。

この子だから出来る！

障害があるが故の特性を活かす・・・

良いところを伸ばす！

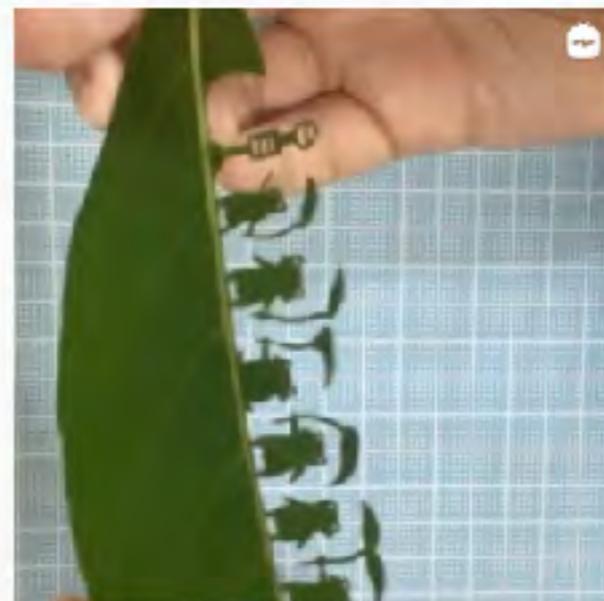


良いところを伸ばす！

Safari 9:16 9月20日(日)

Instagram.com

100%



良いところを伸ばす！



読み書きのできないダウン症の女性。ハンデを武器に「天職」で大活躍

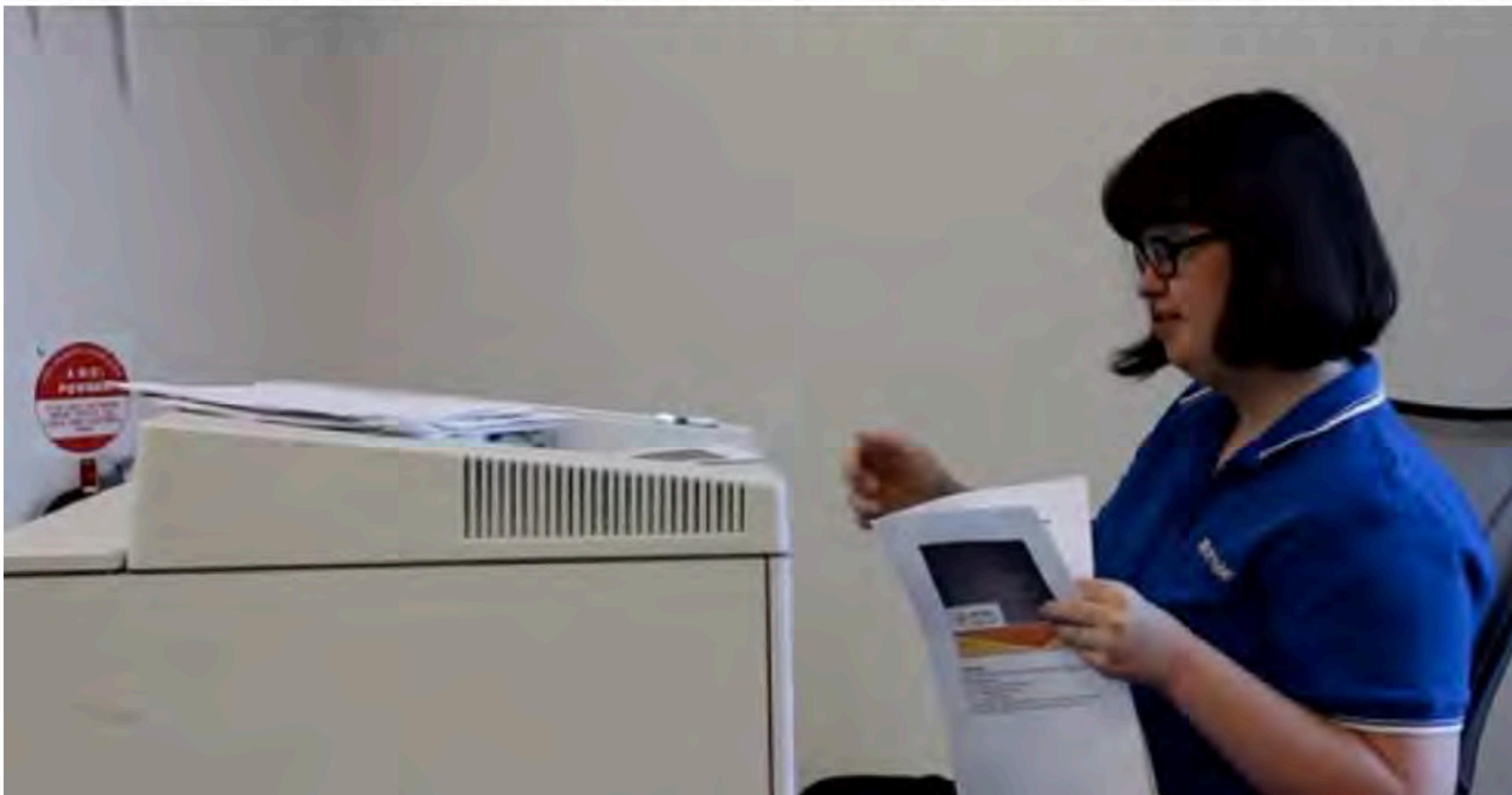
ダウン症などの障がいを持って生まれた21歳の女性、エマ・ライナムさん。そんな彼女は自身のハンディキャップを活かし、素晴らしい「天職」を手に入れたのでした。

オーストラリアのクィーンズランド州に住むエマ・ライナムさん。彼女はダウン症と軽度の自閉症・難聴などを患って生まれました。

そのため現在でも彼女は読み書きができず、通常の職に就くことは難しいと考えられていたのです。

しかし転機が訪れました。オフィス業務を体験するという学校のプログラム。そこで彼女は他の業務に興味を示さないものの、シュレッダーだけは夢中になったのです。

読み書きの出来ないエマさんは、どんなに機密の文書を見せても心配がありません。彼女はまさにシュレッダーが「天職」だったのでした。



まるで写真！自閉症の画家が描いた表紙が話題に 作者の父に思い聞く

withnews編集部

23611 155687



<http://withnews.jp/article/f0151205000qq00000000000000000000W00o0401qq000012810A>



ビジネス

自閉症者を積極採用—独SAPや米フレディマックの取り組み



SAPで働くアスペルガー症候群のトリック・プロフィーさん（左）と前度で世話役のアービッド・スウィーニーさん。CHRANDOLAN FOR THE WALL STREET JOURNAL

By SHIRLEY S. WANG

2014年3月31日 14:30 JST

原文(英語)

【ダブリン】一部の雇用主は、自閉症の人々が職場にとってマイナスの

SPECIAL ADVERTISING SECTION

注目記事ランキング

1. トランプ氏に一步も譲らず、一匹狼マケイン議員



2. トヨタ、世界最大に変わりなし



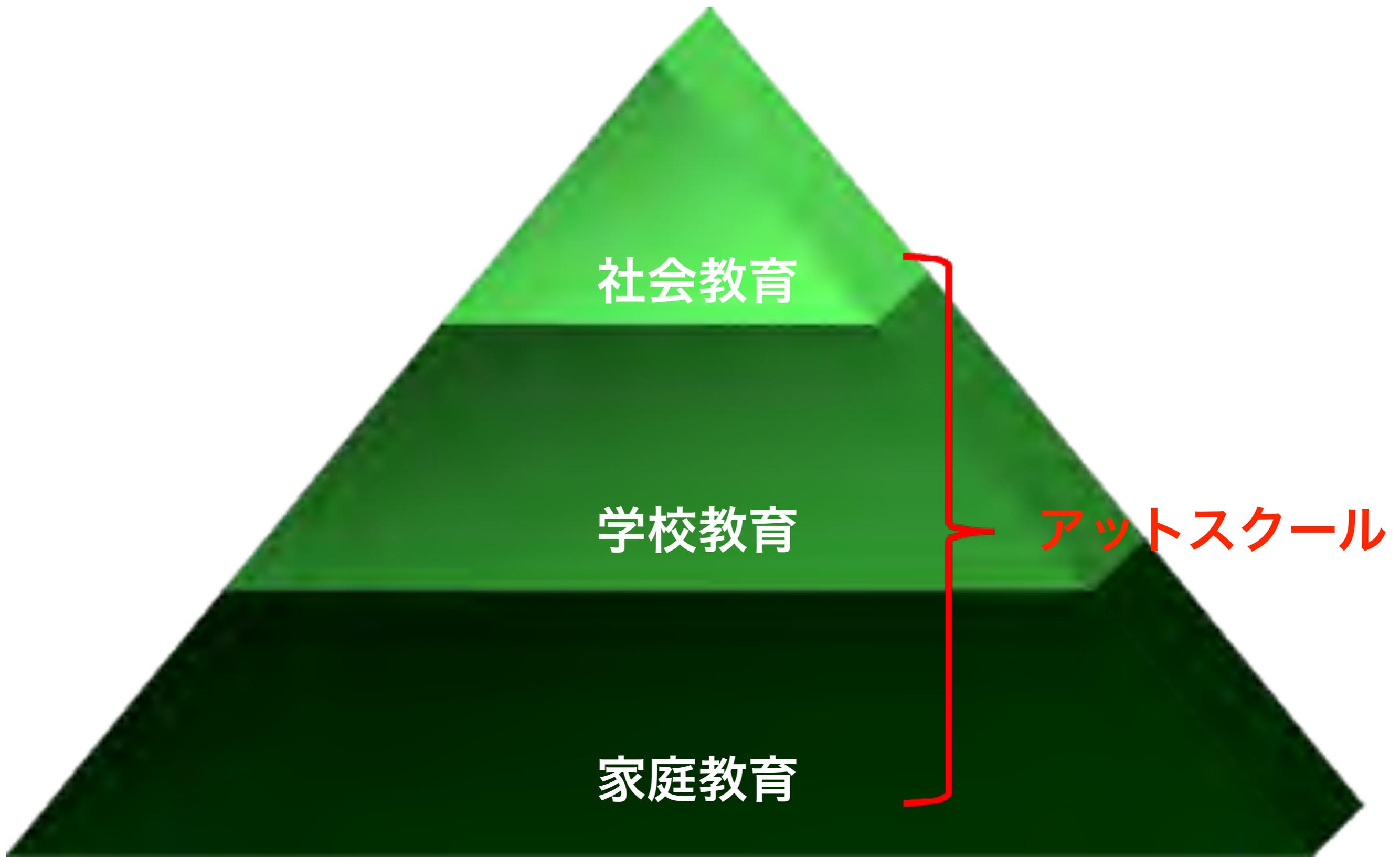
3. トランプ氏、入国禁止に反旗翻した司法長官代理を解任



4. トランプ大統領の入国拒否、何が狙いか？



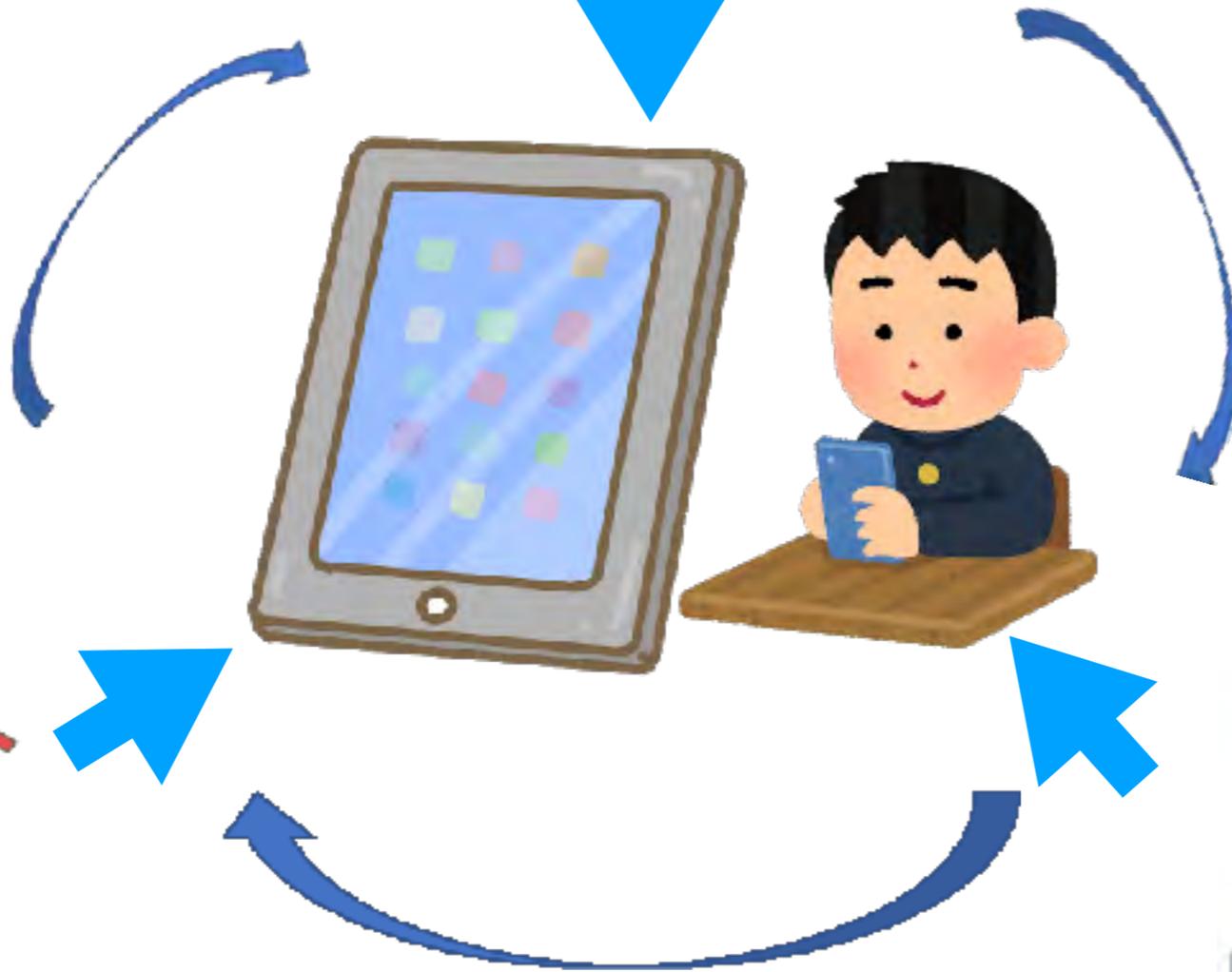
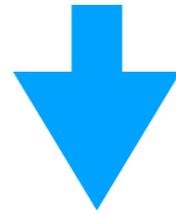
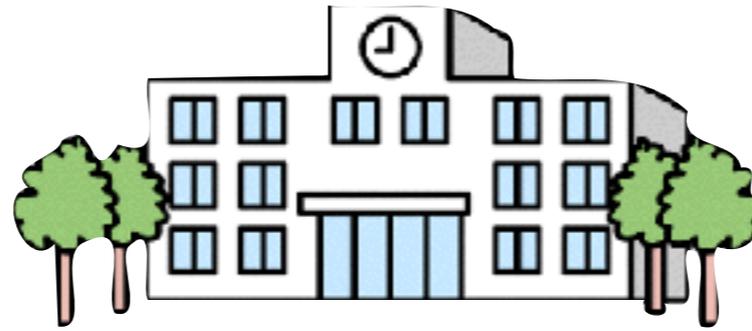
アットスクール
五つの輪
役割



家庭教育から社会教育まで広い分野で
困りのある子を支援する

学校教育

三者間の連携が非常に大切



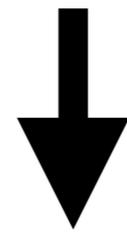
家庭教育



アットスクール

個に応じた学習保証
知識の土台の構築

家庭教育



学校教育

創造的なアイデアを生み出す力
探究心・思考力の育成

社会教育

学習の基盤を作る

学校では難しい継続的な支援を提供する

学びたい！

知りたい！

読めるようになりたい！

書けるようになりたい！

学習に向かう体作り

発達性協調運動障害（DCD）

正中線交差

眼と手の協応

尺側分離



不器用

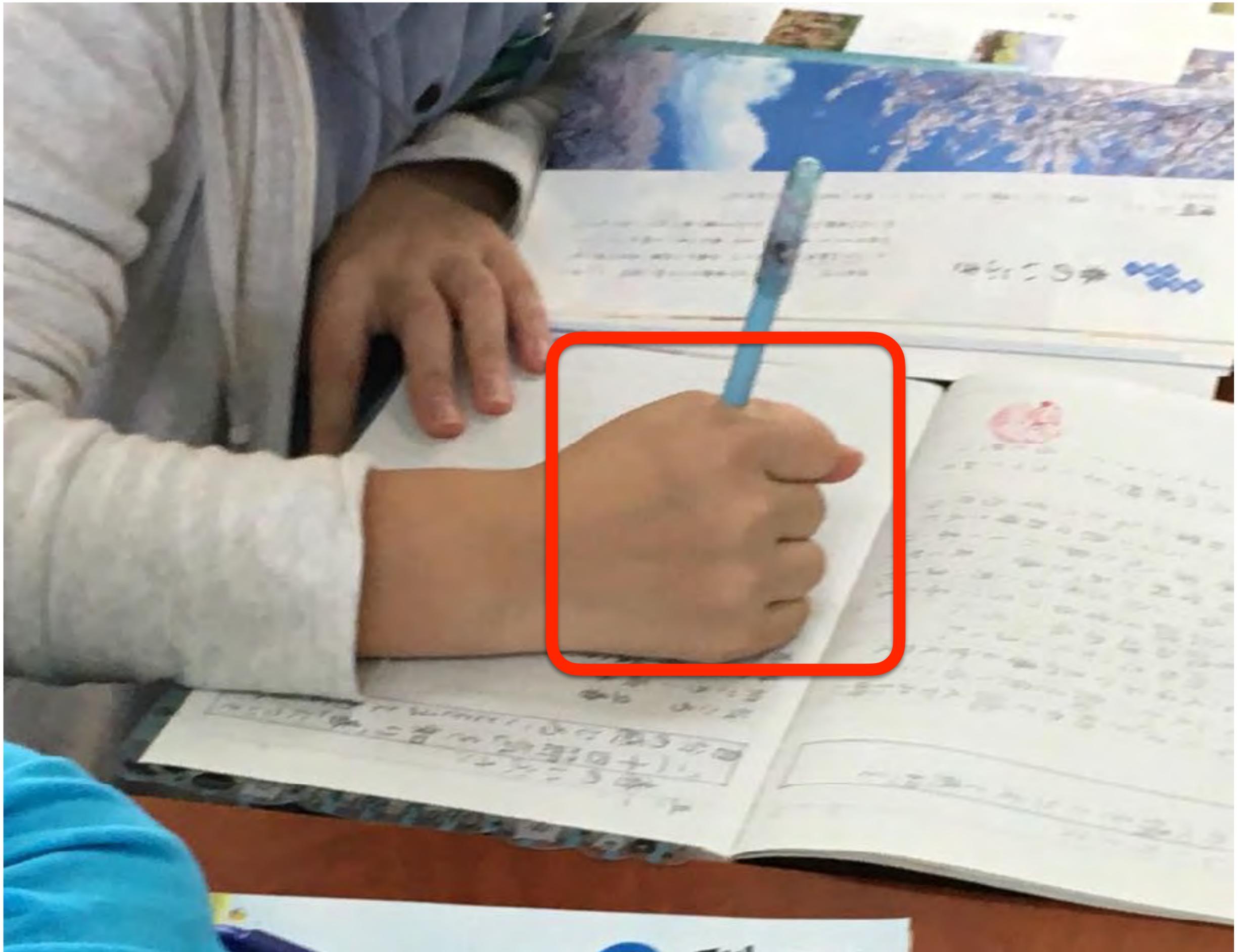
ぎこちない

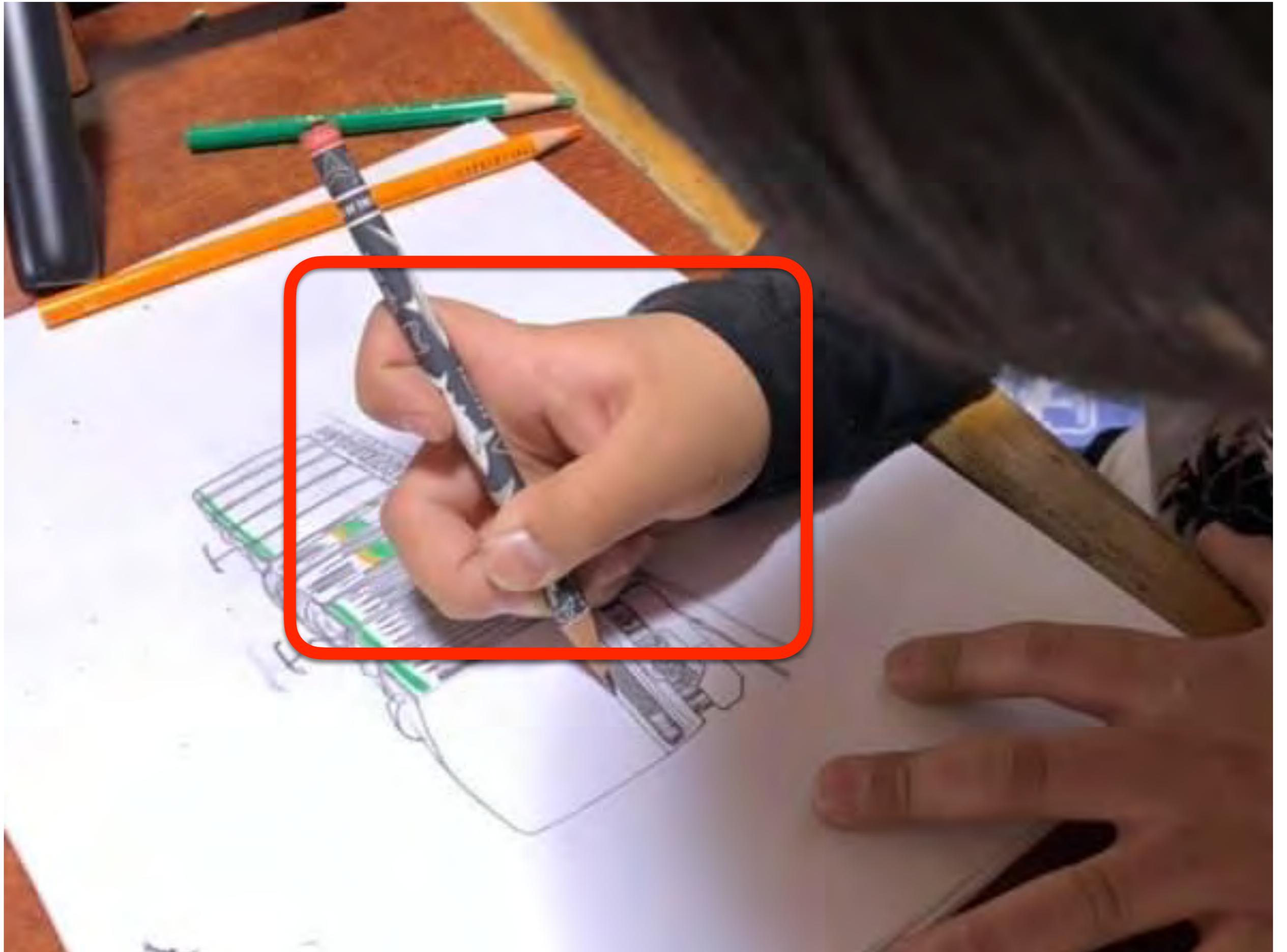
運動音痴













こんな自分になるぞ！！

1年と2年のおてしまんになり
ます。じかんをまもる。

そのためにすることは・・・

正しいことをする。口
とけいをちゃんと見
る、

土台となる知識の定着
自分のペースで学習できる

ICT機器の優位性

即時フィードバック

ランダム再生

学習履歴管理

音声読上・音声入力

動画

3D

土台となる知識の定着 自分のペースで学習できる

18:28 2月7日(日) 100%

戻る 語彙テスト

達成率0%(0/600点)

チャレンジテスト

語彙チャレンジ ★

語彙テスト(50問15分)

- 語彙テスト6級 ★
- 語彙テスト5級 ★
- 語彙テスト4級 ★
- 語彙テスト3級 ★
- 語彙テスト2級 ★
- 語彙テスト1級 ★

 **0円** **0円**

**モバイルWiFiで楽天回線をお試し**
プラン料金1年無料/2年目以降2,980円/月(税別)通話料等は別。キャンペーン実施中



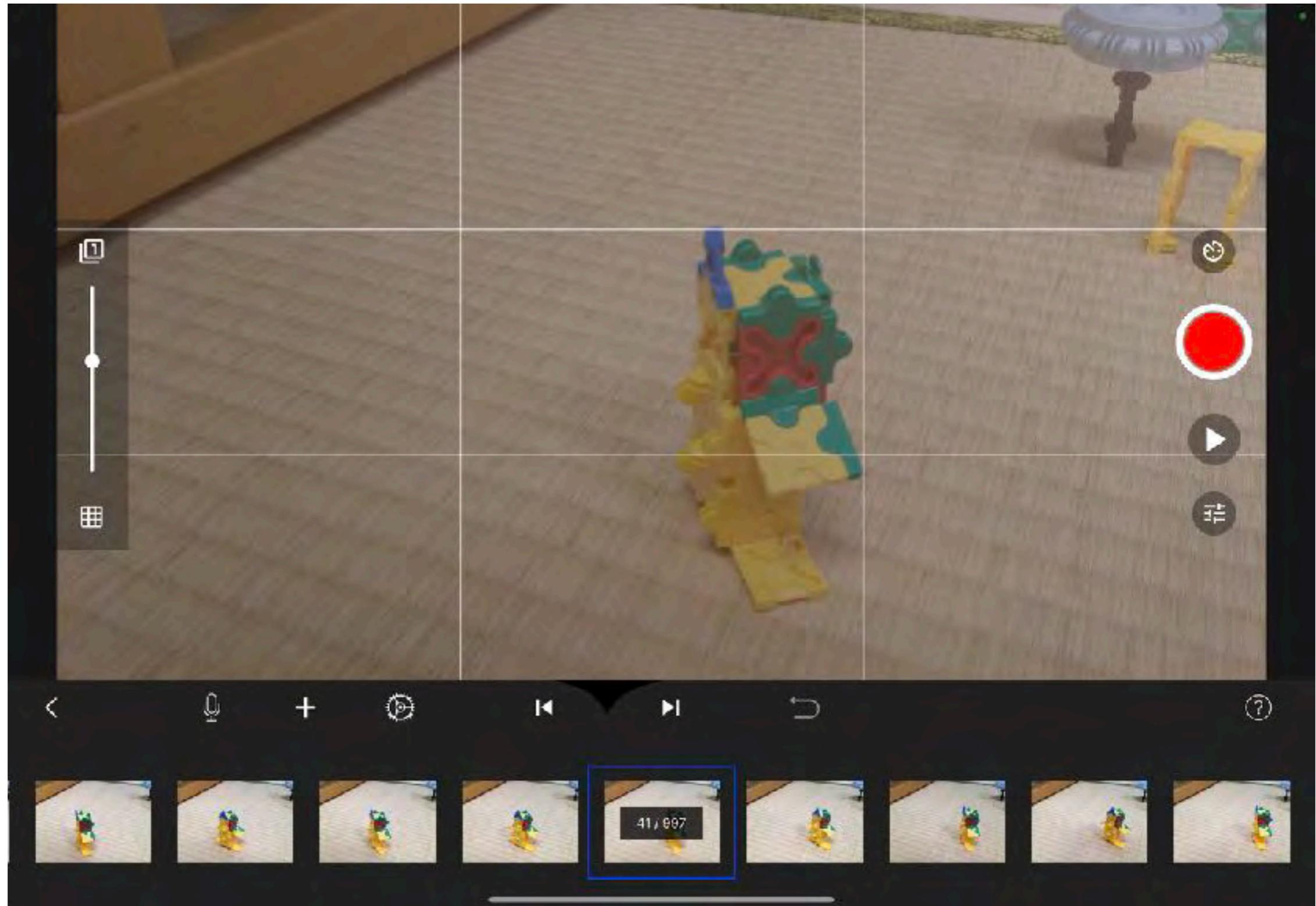
土台となる知識の定着
自分のペースで学習できる



創造的なアイデアを生み出す力 付加価値・差別化の育成

ギフテッドの子どもたちを
更に伸ばす⇒社会的自立へ
つなげる

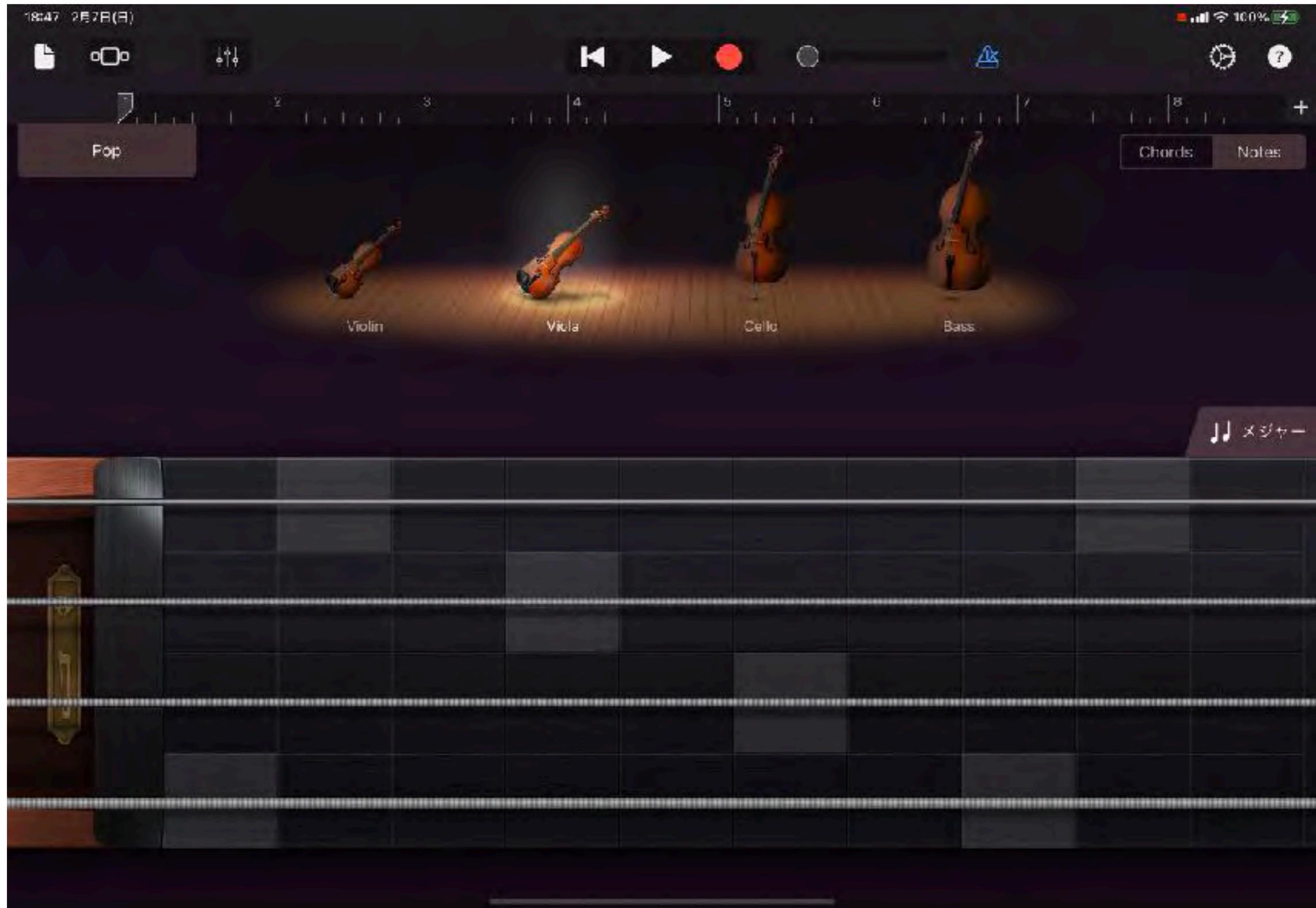
創造的なアイデアを生み出す力 付加価値・差別化の育成



創造的なアイデアを生み出す力 付加価値・差別化の育成



創造的なアイデアを生み出す力 付加価値・差別化の育成



まとめ

出来ないところ（劣位性）を改善する



得意なところ（優位性）を伸ばす

追いつこうとするから苦勞をし、挫折感を感じてしまいます。
追いつけない分野で勝負を試みる発想を支援者の方々が持つ

だめな事はいつも気になる



日々リフレーミングの習慣

集団では改善が難しい（クラス）

小集団だからこそ効果があること

週1での改善は難しい（通級指導教室）

福祉的な支援では無い障害特性を活かした自立支援

このように

家庭教育・学校教育・社会教育では

効果の出にくい

このようなことに効果のある

子どもたちの新しい居場所は

放課後デイサービスや

フリースクール

・・・

障害特性や、様々な困りを補完するために知らず知らずに身につけた能力に目を向けて、それらを活かす職を見つける（無ければ創造する）ことが、将来の更なる機械化の流れを乗り越える大きなポイントになるのではないのでしょうか。

参考書籍

新しい時代の

特別支援教育における
支援技術活用と
ICTの利用

編著 金森 克浩

著 福島 勇・大井 雅博





井上眞子著



学びにくさのある子への

読み書き支援

いま目の前にいる子の「わかった!」を目指して

きっと方法はある!

ICTも!
アナログも!



Gakken

「1人1台」 端末で 特別支援教育 が変わる!

すぐに取り組み、役立つアイデア123



青木高光 監修

全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会 編著





100

子ども・保護者・教師からの
の提言

デジタル時代の 教育支援ガイド

まひやひや回のあまの子が輝く



朝日新聞社 著

自立

合理的配慮

インクルーシブ教育

ICT・
ツール

支援のヒントは
現場に聞け!

保護者連携

GIGAスクール

コミュニケーション

発達障害

学習・受験

Gakken

新時代を生きる力を育む

知的・発達障害のある子の

プログラミング 教育実践

監修：金森克浩 編集：水内豊和 著：海老沢輝、齋藤大地、山崎智仁



シアース教育新社

新時代を生きる力を育む

知的・発達障害のある子の

プログラミング 教育実践 ②

監修：金森克浩 編集：水内豊和・齋藤大地



シアース教育新社

知的障害のある子への

プログラミンング

教育「にチャレンジ！」

320冊

特別支援教育

×
プログラミンング教育

で培う論理的思考力

教師
アップ
デート

Mitsuru Toyokuni

水内豊和

Yamamoto Tomonika

山崎智仁

一の十×

特別支援

GIGASスクール

に対応した

タブレット活用

小・中・高等学校・特別支援学校

特別支援教育の実践研究会 編

新しい学びの形が見えてきた

学習支援
から
プログラミング
教育
まで



特別支援教育 の実践情報

特別支援教育の実践研究会編 代表:星枝壽代治



No.202

特集

「GIGAスクール構想」実現! 待ったなしの1人1台 端末の使いこなし術

◎ Ⅷ期 特別支援教育におけるICT活用

／星枝壽代治 (文部科学省特別支援教育推進 特別支援教育推進室)

◎ 誌上で学べる! ICT活用研修 基本スキル&授業づくり

◎ Ⅷ期

- 授業で120%タブレットPCを活用する!
最新ちょこっとアイデア
- プログラミング教育にチャレンジ!
契約障害特別支援学校の実践



明治図書

絵で見えてわかる!

視覚支援の カード・教材



100

自分で「できる!」を楽しく増やす

青木高光・杉浦 徹・竹内奏子 著

シンプルな絵で明確に伝わる

教材や掲示物を出力してすぐに
生活指導や学習支援に使える!

活用アイデア・ポイント解説つき

Gakken

視覚シンボルで コミュニケーション

障害者の暮らしに役立つ
シンボル 1000

CD-ROM
2



ドロップレット・プロジェクト

エンバウメント研究所



視覚シンボルで コミュニケーション

障害者の暮らしに役立つシンボル1000

CD-ROM
付き



ドロップレット・プロジェクト

エンバウメント研究所

特別支援教育サポートBOOKS

子どもが目を輝かせて学びます！

教材・教具・ICT

アイディア

100

教材・教具を
コミュニケーションツールに

スモールステップで「できた！」を引き出そう

明治図書

「特別支援教育の実践情報」編集部
村野 一 監



ワクワク テクノロジー

もっと

わかる、できる、もっと楽しめる



特別支援教育 **ONE** テーマブック

ICT活用

新しいはじめての一步

青山新吾
編集代表

郡司竜平 著



発達障害のある子の学びを深める

教材・教具・ ICTの 教室活用アイデア

金森 克浩・梅田 真理・坂井 聡・富永 大悟 著

鉛筆の
持ち方支援ができる
「ダブルクリップ」から
授業記録に役立つ
「レコーダー」まで

障害者差別解消法や
インクルーシブ教育システムなど
支援が求められる時代の
ちょっとサポート

LDの 「定義」を 再考する

出版——一般社団法人 日本LD学会
編集——小貫 悠・村山光子・小笠原哲史

Learning
Disabilities

上野一孝
高橋 知哉
藤 川
竹田 賢一
宮本 慎也
山中ともえ
海津 豊希子
辻藤 武夫
西岡 有香
田中 裕一
高橋 芳子
柴田 文子
高橋 知哉
松 敦
小笠原 哲史
尾崎 敏正

情報通信の活用と社会参加の促進に向けて

障害者のICTを活用した社会参加

情報通信

事例集



視線でらくらく コミュニケーション



特別支援教育サポートBOOKS

タブレットPCを 学習サポートに 使うための Q&A

河野俊寛 著

インターネットにつながら
ないと使えない？

指先が不器用なときは
どうしたらいい？

学習に使えるアプリの
見つけ方は？

いつ頃から使い始めれば
いいの？

入試に向けて使うときに
気をつけることは？

これで解決！
学習サポート
ツールとしての
活用法

明治図書

決定版!

特別支援教育の ためのタブレット活用

今さら聞けないタブレットPC入門

編者 金森 克浩

執筆 新谷 洋介 / 氏間 和仁
小川 穂史 / 高松 崇



シアース教育新社

コミュニケーションを 豊かにするための ICT活用

～〈続〉肢体不自由児のためのタブレットPCの活用～





知的障害特別支援学校の ICT を活用した 授業づくり

監修
金森 克浩

編著
全国特別支援学校知的障害教育校長会

ジヤース教育新社



授業力向上シリーズNo.6
学習指導要領に基づく授業づくり
2018年11月15日発売
本体1,800円＋税



授業力向上シリーズNo.4 —「アクティブ・ラーニング」の視点を生かした授業づくりを目指して—
2016年11月7日発売
本体1,800円＋税



授業力向上シリーズNo.2
—解説 目標設定と学習評価—
2014年11月7日発売
本体1,800円＋税



授業力向上シリーズNo.5
思考力・判断力・表現力を育む授業
2017年11月9日発売
本体1,800円＋税



授業力向上シリーズNo.3
—解説 授業とカリキュラム・マネジメント—
2015年11月8日発売
本体1,800円＋税



授業力向上シリーズNo.1
学習指導の充実を目指して
2013年11月7日発売
本体1,700円＋税

重度障害者用

意思伝達装置 操作スイッチ

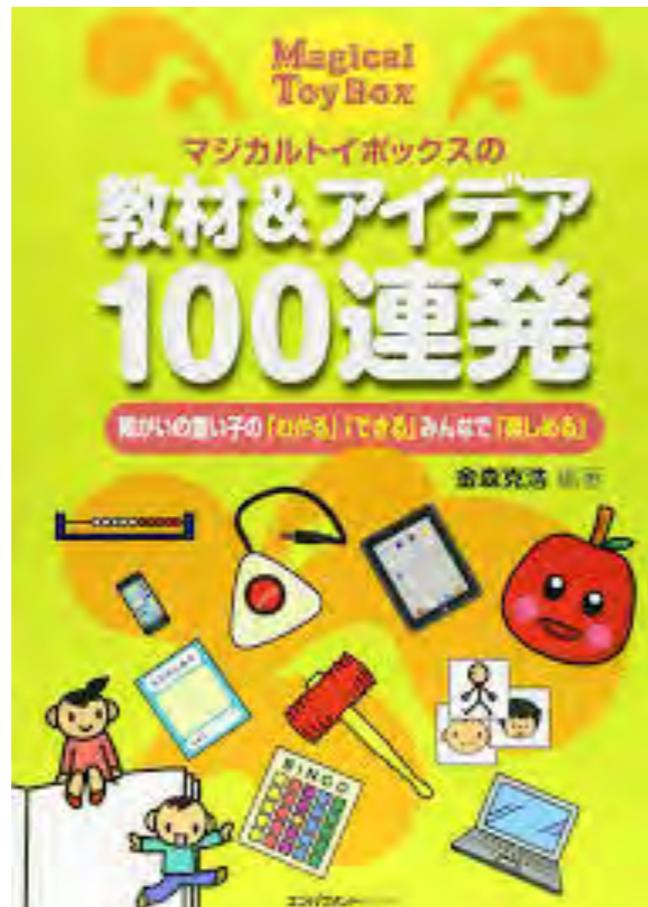
適合マニュアル



日向野和夫 著
田中清次郎 監修

 三栄物産

マジカルトイボックス

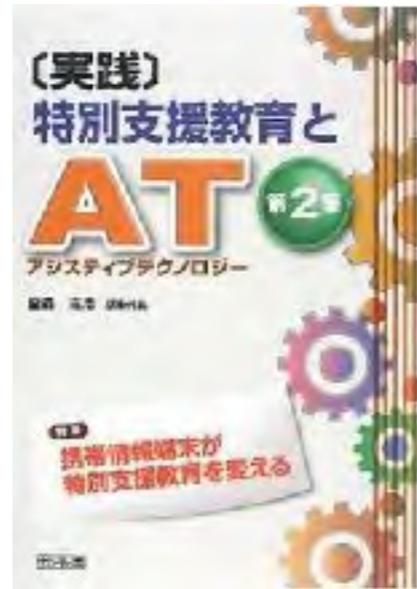


特別支援教育とAT(アシスティブテクノロジー)

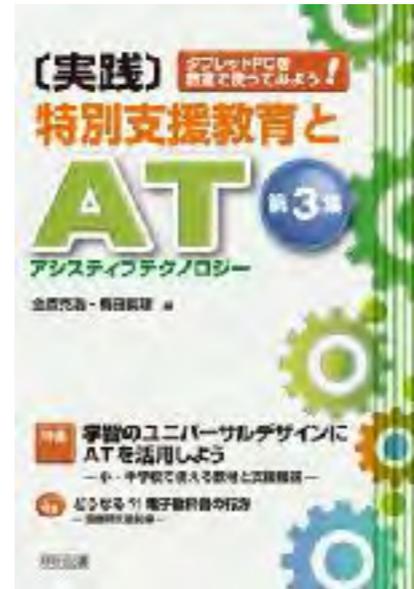
国立特別支援教育総合研究所 金森 克浩



「概論・入門編」



「特別支援教育」



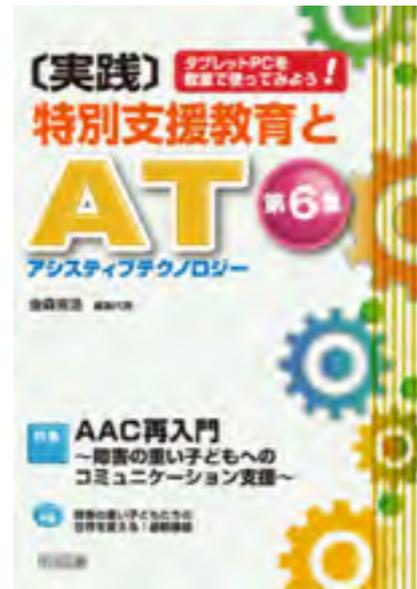
「学習のUD」



「合理的配慮」



「視覚支援」



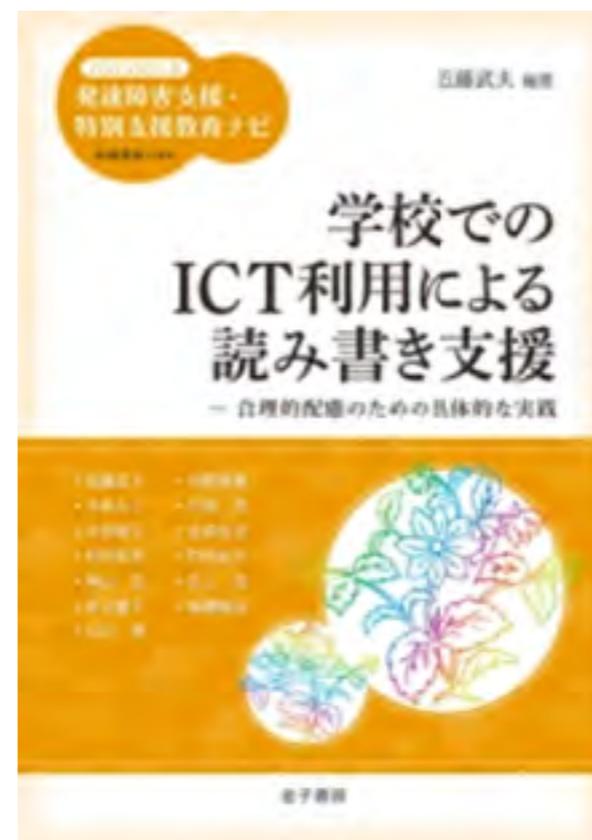
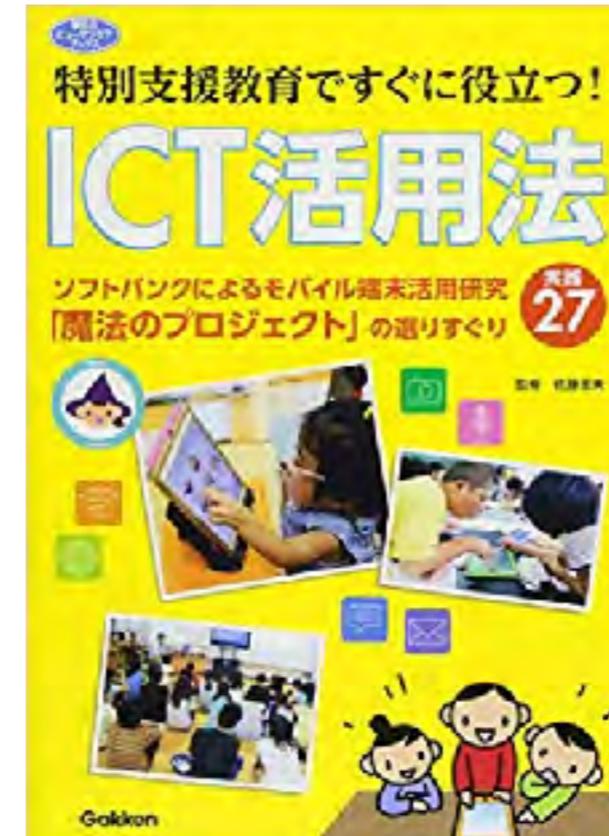
「AAC再入門」



「知的障害」

各号のキーワード

東京大学先端科学技術研究センター 関係



魔法プロジェクト 研究成果



あきちゃんの魔法の
ポケット



魔法のふでばこ
2011



魔法のじゅうたん
2012

東京大学先端科学技術研究センターとソフトバンクグループは、携帯電話・スマートフォン等の情報端末の活用が障害を持つ子どもたちの生活や学習支援に役立つことを目指し2009年6月から「あきちゃんの魔法のポケットプロジェクト」をスタートしました。



魔法のランプ
2013



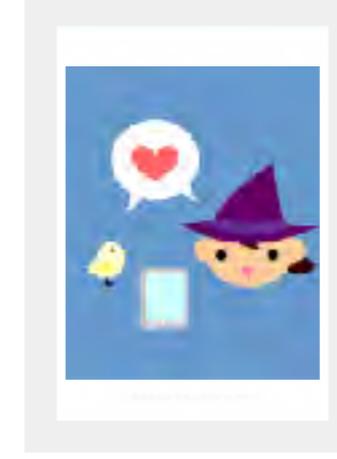
魔法のワンド
2014



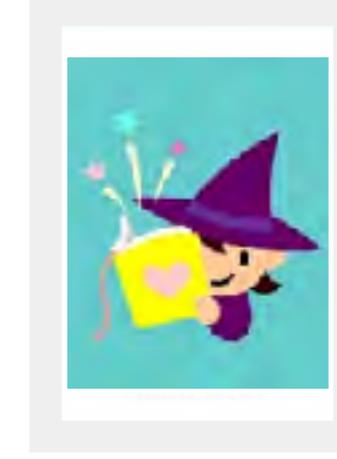
魔法の宿題
2015



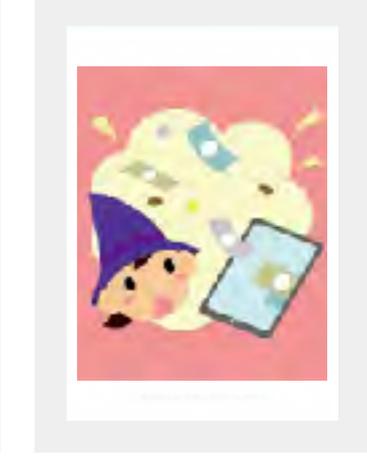
魔法の種
2016



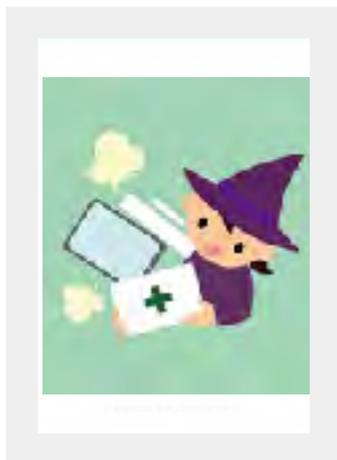
魔法の言葉
2017



魔法のダイアリー
2018



魔法のWallet
2019



魔法のMedicine
2020

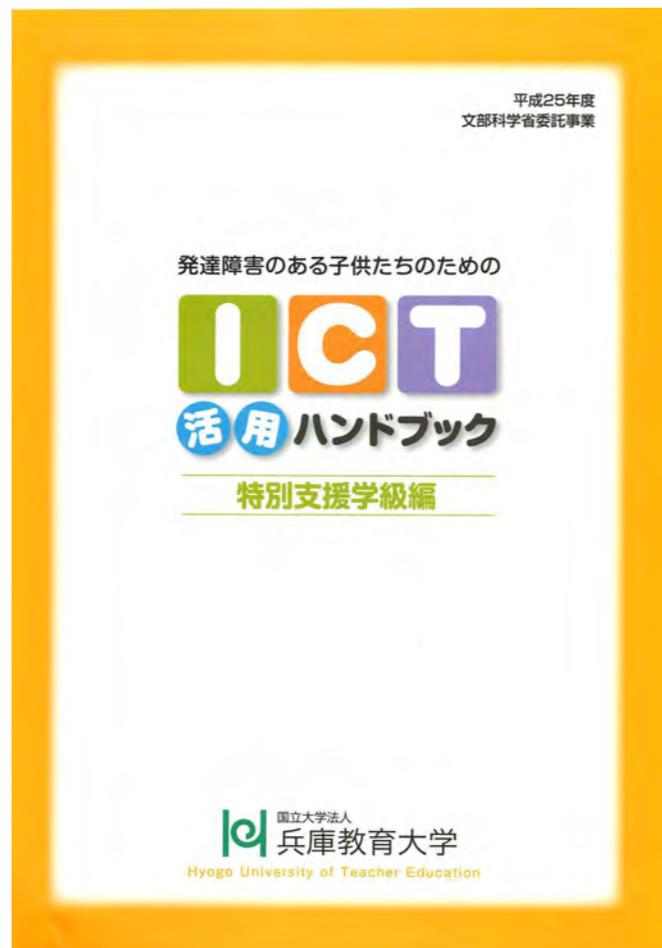


魔法のMeasure
2021

<https://maho-prj.org>

文部科学省

発達障害のある子供たちのための ICT活用ハンドブック



特別支援学級編



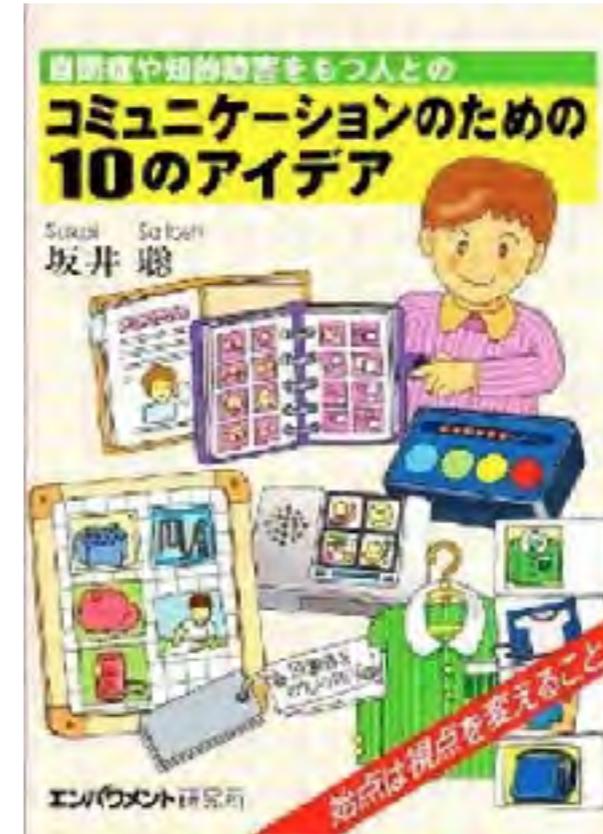
通常の学級編



通級指導教室編

香川大学教授

坂井 聡



日本肢体不自由児協会

肢体不自由児
のための
タブレット
PCの活用

日本肢体不自由児協会

手足の不自由な子どもたち No.27号 No.354

はげみ 10/11
October - November

特集 生活を豊かにする支援機器の活用2

日本肢体不自由児協会

手足の不自由な子どもたち No.25号 No.350

はげみ 6/7
June - July

特集 教育・療育におけるコンピュータの活用
その3

日本肢体不自由児協会

手足の不自由な子どもたち No.29号 No.374

はげみ 6/7
June - July

特集 視線入力でらくらくコミュニケーション
～聴がいの重い子どもの新しいコミュニケーションツール～

日本肢体不自由児協会

手足の不自由な子どもたち No.30号 No.380

はげみ 6/7
June - July

はげみ380号

特集 視線入力でらくらくコミュニケーション2
～視線入力装置を使いこなす～

日本肢体不自由児協会

手足の不自由な子どもたち No.28号 No.360

はげみ 6/7
June - July

特集 シンプルテクノロジー
～アノログな機器がスイッチ1つの簡単な機能などで活動を支える～

日本肢体不自由児協会

手足の不自由な子どもたち No.26号 No.358

はげみ 2/3
February - March

特集 学習や療育へのICTの活用
～「ICT活用」が「ICT活用」を促す～

日本肢体不自由児協会

手足の不自由な子どもたち No.24号 No.347

はげみ 4/5
April - May

特集 学習や療育へのICTの活用2
～新しい日常でのオンラインの可能性～

日本肢体不自由児協会

EDGE



学習支援員のためのガイドブック

特別支援教育 実践テキスト [第2版]



特別支援教育実践テキスト

能力を引き出し伸ばす支援

通常学級における発達障害の
児童生徒への支援ガイドブック



ATDS

Assistive Technology Dissemination Society

NPO法人支援機器普及促進協会

<http://npo-atds.org>

<https://www.facebook.com/takamatsu.takashi>